

企業概要①

沢井製薬株式会社

sawai

なによりも患者さんのために

沢井製薬

企業理念

「なによりも患者さんのために」

1. 「真心をこめた医薬品を通じ、人々の健やかな暮らしを実現する」
それが **sawai** の使命です。
2. 「創造性を追求し、革新と協調により社会と共に成長する」
それが **sawai** の挑戦です。
3. 「お役に立ちたいという心を持ち、なくてはならない存在になる」
それが **sawai** の願いです。

日本国内の販売量は148億錠
日本の医療を支える医薬品メーカー

会社概要

創業：1929年4月1日

設立：1948年7月1日

資本金：412億円

従業員数：3,393名

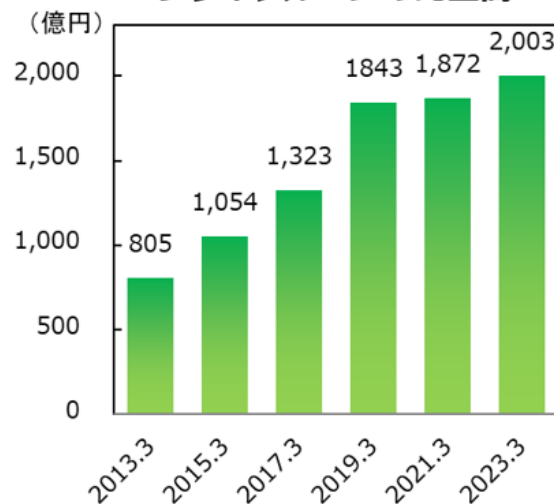
(サワイグループの連結)

売上高：2,003億円

(サワイグループの連結)

販売品目：約800品目

サワイグループの売上高



企業概要②

生産拠点

九州工場（福岡県飯塚市）

敷地面積70,351㎡
生産能力22億錠
就業人数 約485名



三田工場（兵庫県三田市）

敷地面積14,686㎡
生産能力48億錠
就業人数 約240名



三田西工場（兵庫県三田市）

敷地面積23,136㎡
就業人数 約130名
※包装のみを実施



鹿島工場（茨城県神栖市）

敷地面積146,200㎡
生産能力30億錠
就業人数 約320名



第二九州工場（福岡県飯塚市）

敷地面積60,395㎡
生産能力20億錠 / 就業人数 約430名

関東工場（千葉県茂原市）

敷地面積135,857㎡
生産能力35億錠
就業人数 約520名



sawai

企業概要③

九州工場 (福岡県飯塚市潤野)



▼特徴

- ◆ 1981年に九州工場完成。
- ◆ 内服剤、注射剤の製造が可能
- ◆ 1999年 (財)日本緑化センター会長賞受賞
- ◆ 2008年 九州経済産業局長賞受賞
- ◆ 2022年 注射棟竣工

- 延床面積 25,803 m² (約7,805 坪)
- 敷地面積 70,351 m² (約21,281 坪)
- 生産剤形 錠剤(素錠・フィルム錠)、
カプセル剤、注射剤(アンプル・バイアル)、
粒剤(顆粒剤・細粒剤・散剤・ドライシロップ)
- 製造品目数 263品目
- 就業人数 485名

第二九州工場 (福岡県飯塚市平恒)



▼特徴

- ◆ 中容量小容量の生産スケールに特化している。
- ◆ 2012年会社分割より沢井製薬第二九州工場となる。
- ◆ 固形製剤棟を建設中

- 延床面積 18,809 m² (約5,690 坪)
- 敷地面積 60,395 m² (約18,629 坪)
- 生産剤形 錠剤(素錠・フィルム錠)、
粒剤(顆粒剤・細粒剤・散剤・
ドライシロップ)
- 製造品目数 195品目
- 就業人数 430名

これまでの歯科口腔保健の取り組み

九州工場 …2021年より歯科保健教育を実施

▼取組内容

2021年度：全従業員へ歯周病予防について**歯科保健指導**を実施

2022年度：**歯周病簡易検査－歯肉溝バイオマーク検査**を健康診断（5月）と集団ワクチン接種時（11月）にあわせ、2回実施。⇒計55名が検査。（希望者のみ、費用自己負担）

同時に、健康保険組合実施の**歯周病リスク検査**（郵送検査）も実施 ⇒2名が検査。（一部負担金）

2023年度：健康診断（5月）時に**歯周病簡易検査－歯肉溝バイオマーク検査**を実施。⇒26名が検査。（希望者）



歯科保健指導（全従業員）、健康診断時やワクチン接種時に簡易検査を実施（希望者、費用自己負担）

➡本モデル事業において、集団ワクチン接種時（11月）に全従業員を対象として実施

第二九州工場 …未実施

本モデル事業への参加が、歯科口腔保健における初の取り組み

**本モデル事業で
参加したモデルタイプ**

九州工場：タイプ4

- ・簡易検査（ワクチン接種時に実施）
- ・歯科保健指導（オンライン講座）

第二九州工場：タイプ2

- ・歯科健診（単独実施）
- ・歯科保健指導（対面指導）



2種類のモデルにおけるメリット・デメリットを比較し、今後の皆歯科健診本格導入に向け検討材料としたい

《九州工場》モデル事業実施の流れ（簡易な歯科検査・歯科保健指導（オンライン講義））

実施概要:タイプ4
簡易な歯科検査・歯科保健指導（オンライン講義）の実施
対象者:**全従業員対象**
対象人数:485名
実施日程
2023年10月24日
2023年10月25日
リスク検査実施者数:**418名**
(男性208名、女性210名)

01 モデル事業参加 説明会・個別面談

6月

- モデル事業に関する説明会に参加



02 関係者調整

9月~11月

- モデル事業参加に向けて実施の方法・内容・スケジュールを個別相談
- 歯科保健指導の実施方法について検討



03 受診案内等準備

9月

- 歯科健診の案内チラシ作成、周知
- 参加アンケートの回答依頼
- 前アンケートの配布
- 自社アンケート（例年）の実施**



04 簡易な歯科検査の実施

10月

- 集団(インフル)ワクチン接種日の、10月24日25日の2日間で実施
- 検体キットは事前配布し、当日朝に検体採取、会場にて回収(**スタッフ2名**)
- 検査業者へ
当日郵送



05 歯科保健指導の実施

11月

- 11月下旬健診結果到着⇒検査結果を返却
- 地域の大学と連携し、歯科保健指導(オンライン講座)を実施
- 1時間程度の講義を**全従業員**が受講(**未検査者も含む**)



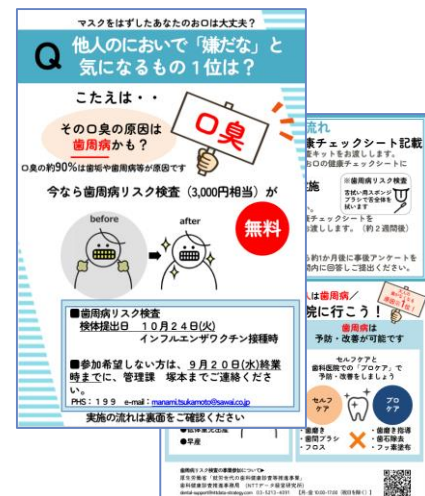
06 とりまとめ

12月~1月

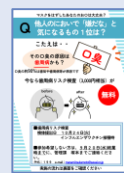
- 簡易な歯科検査の実施者へ歯科健診の受診状況等についての事後アンケートの実施
- 自社アンケート（参加後）の実施**



案内チラシ



簡易な歯科検査・ 歯科保健指導 (オンライン講義)の実施



実施案内
配布



事前アンケート



簡易な歯科検査
の実施



受診勧奨
の実施



歯科保健指導
(オンライン講義)の実施



終了

独自の取り組み

簡易検査実施後のフォローアップを実施

■ 歯科保健指導（オンライン講義）を実施

全従業員に対し、医師・歯科衛生士による講話を実施

講話内容

- ・ 歯周病の話や全身疾患との関連
- ・ 口腔ケア



■ 判定Cの方に対し、結果に「医療機関受診報告書」を同封し受診勧奨を実施

- ・ 歯科医院へ受診勧奨
- ・ 報告書の提出を呼びかけ

年代別検査結果内訳

	A リスク低	B リスク中	C リスク高	総計
10代	22	3	1	26
20代	80	18	5	103
30代	81	28	6	115
40代	73	25	12	110
50代	33	18	4	55
60代	4	3	1	8
総計	293	95	29	417

※未実施1

《第二九州工場》 モデル事業実施の流れ（歯科健診・歯科保健指導）

実施概要:タイプ2
歯科健診・歯科保健指導の実施

対象者:参加希望者
対象人数:従業員430名
実施日程

2023年11月20日

2023年11月21日

実施者数:195名
(男性130名、女性65名)

01

モデル事業参加
説明会・個別面談

6月

- モデル事業に関する説明会に参加



02

関係者調整

8月

- モデル事業参加に向けて実施の方法・内容・スケジュールを個別相談



03

受診案内等準備

9月~10月

- 歯科健診の案内チラシ作成、周知
- 参加アンケートの回答依頼
- 自社アンケート実施
- 受診スケジュール作成



04

歯科健診・歯科保健指導実施

11月

- 11月20日21日の2日間、第二九州工場の会議室2か所にて実施(スタッフ3名)



05

とりまとめ

12月~1月

- 歯科健診・歯科保健指導実施者へ歯科健診の受診状況等についての事後アンケートの実施



案内チラシ（表）

マスクをはずしたあなたのお口は大丈夫？

Q 他人のにおいて「嫌だな」と
気になるもの1位は？

こたえは・・・ **口臭**

その口臭の原因は**歯周病**かも？
口臭の約90%は歯垢や歯周病等が原因です

今なら
歯科健診 (3,000円相当) が **無料**

■実施日：2023年11月20日(月)・21日(火) 8:40~16:30
■会場：第二九州工場 プレゼンテーションルーム
■実施内容：歯科健診、歯科保健指導
■所要時間：おひとり15分程度

参加希望アンケートへのご回答、よろしくお願いします
回答期限：10月6日(金)AMまで
回答方法：Google フォーム(メールにて回答依頼送付中)

案内チラシ（裏）

全体の流れ

- 参加登録・お口のチェック回答
参加者の皆様に参加案内メールをお送りします。
メールに記載のURL等から事前アンケート(参加登録とお口のチェック)へご回答をお願いします。
- 歯科健診・歯科保健指導を実施
歯科医師・歯科衛生士による歯ぐき、歯石、むし歯チェック等の実施と結果に応じた歯科保健指導を行います。
- 参加後アンケート
歯科健診実施後約1か月後にアンケートをお送りします。
ご回答をお願いします。

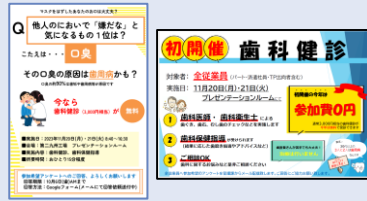
30代以上の3人に2人は**歯周病**！
進行する前に歯科医院に行こう！

歯周病と関係のある様々な病気	歯周病は予防・改善が可能です
●糖尿病 ●認知症 ●呼吸器疾患 ●骨粗しょう症 ●関節リウマチ ●低体重児出産 ●早産	- セルフケアと歯科医院での「プロケア」で予防・改善しましょう - セルフケア：歯ぐき、歯間ブラッシング、フロス - プロケア：歯石除去、歯垢の除去、フッ素塗布

※歯周病リスク軽減の事業参加について
※本チラシは「歯周病世代の歯科健診受診率向上事業」の一環として作成されました。
※お問い合わせ先：NTTデータ経営研究所 03-5213-4091 [A-歯 10:00-17:00 (土日祝日)] 03-5213-4091

【第二九州工場】

歯科健診・歯科保健指導の実施



実施案内
参加希望者募集



事前アンケート
自社アンケート



歯科健診の実施



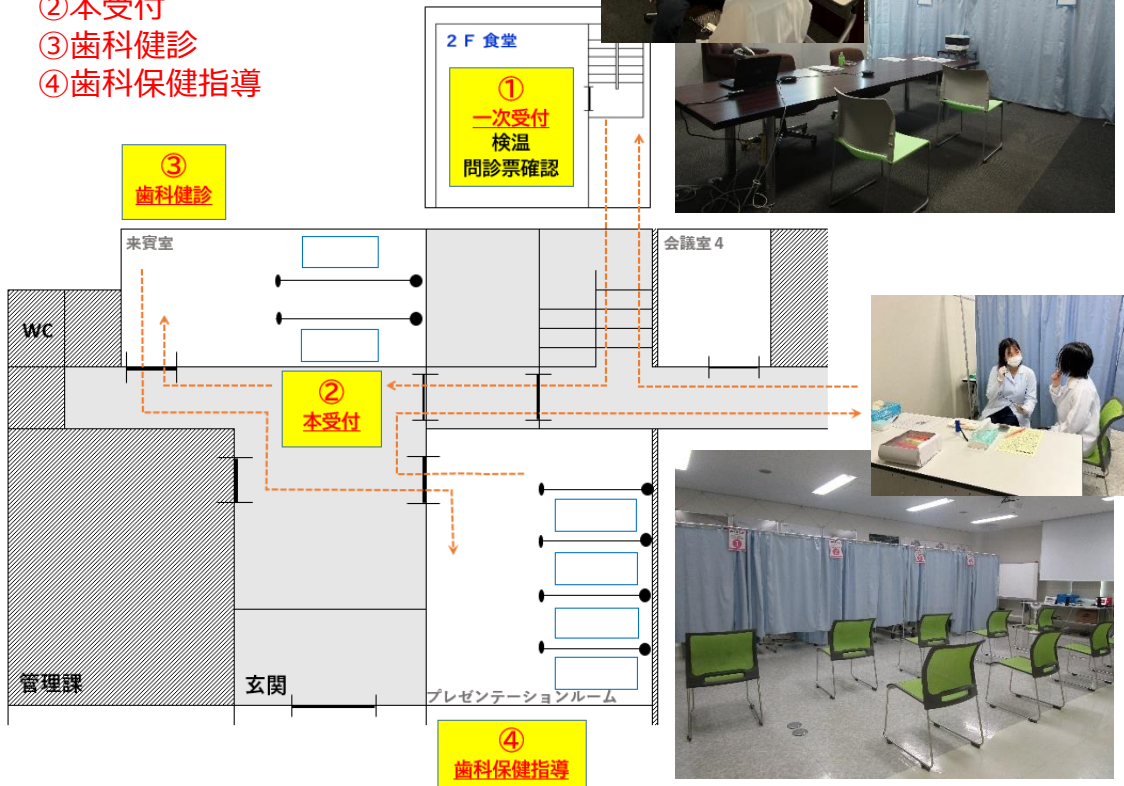
歯科保健指導の実施

終了

歯科健診会場 レイアウト

【当日の流れ】

- ①一次受付
- ②本受付
- ③歯科健診
- ④歯科保健指導



年代別検査結果内訳

	A 異常無	B 要指導	C 要精密 検査	総計
10代	0	10	3	13
20代	1	55	6	62
30代	4	55	8	67
40代	0	31	8	39
50代	0	11	1	12
60代	0	2	0	2
総計	5	164	26	195

- 判定Cの方に対し歯科衛生士より「医療機関受診報告書」を渡して受診勧奨を実施

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識

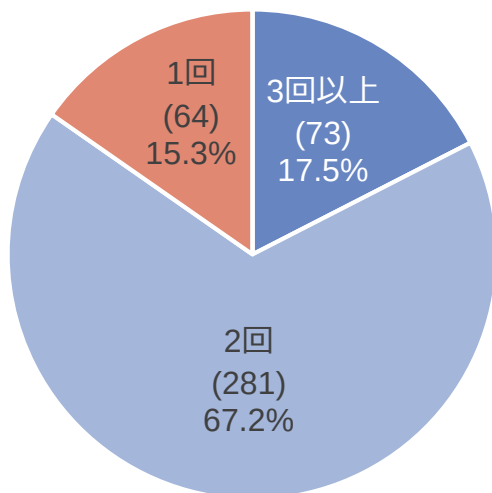
簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

① 歯みがきの頻度

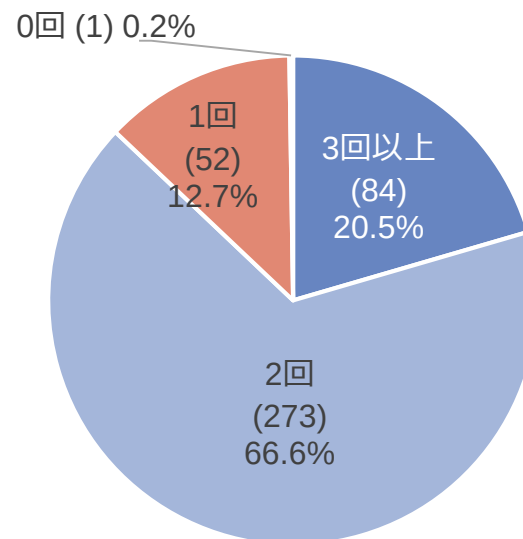
- 歯科健診の実施前・実施後で1日当たりの歯みがき回数は**わずかに増加**傾向であった。

セルフケア（歯みがきの頻度）

簡易な歯科検査実施前 n=418



簡易な歯科検査実施後 n=410



《第二九州工場》

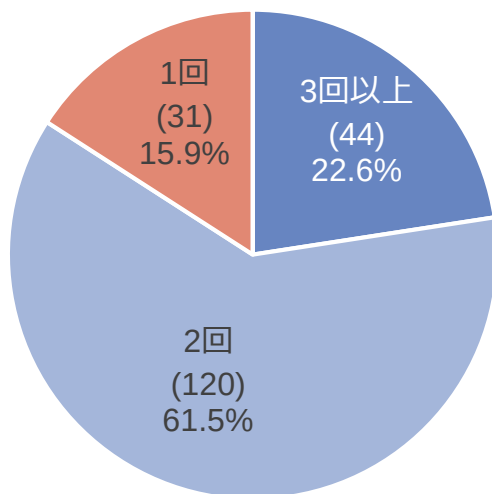
歯科健診・歯科保健指導実施前後の参加者のセルフケアの状況

① 歯みがきの頻度

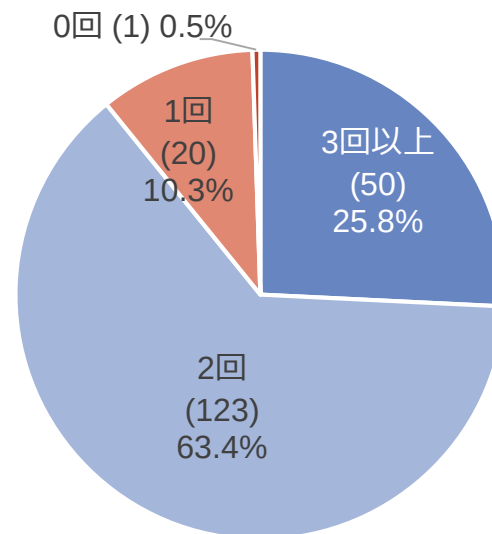
- 歯科健診の実施前・実施後で1日当たりの歯みがき回数は**増加傾向**にあった。

セルフケア（歯みがきの頻度）

歯科健診実施前 n=195



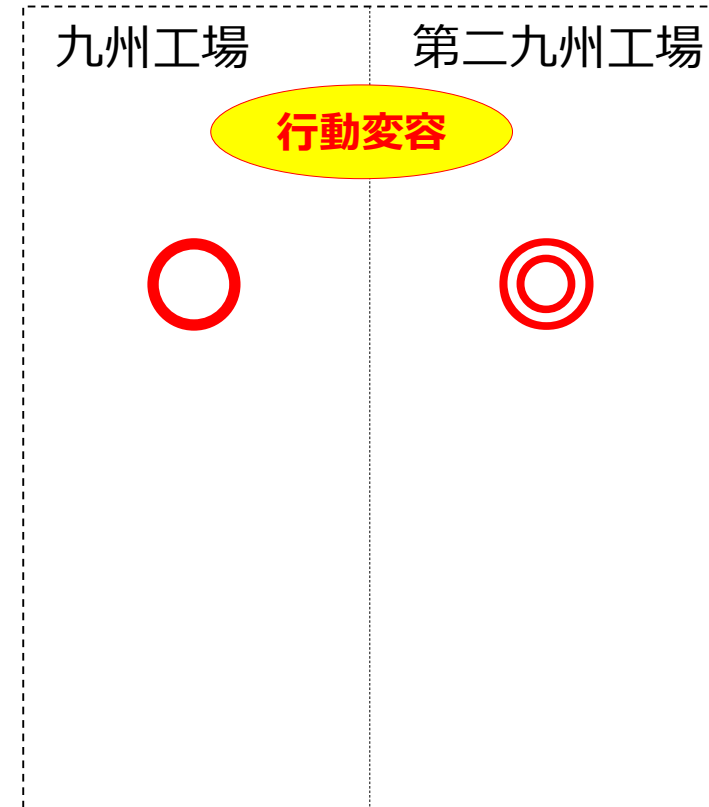
歯科健診実施後 n=194



〈1回〉 参加前 15.9% ➡ 参加後 10.3% 減少
〈2回・3回以上〉 増加

アンケート内容

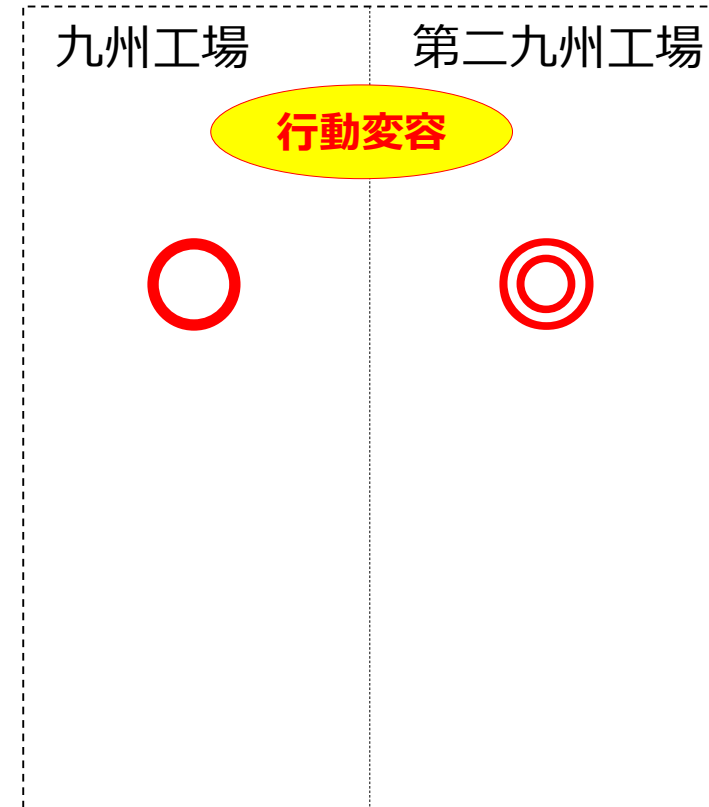
- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識



両工場で、歯みがきの頻度は増加
比較すると、第二九州工場の方がより大きな効果が得られている

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識



簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

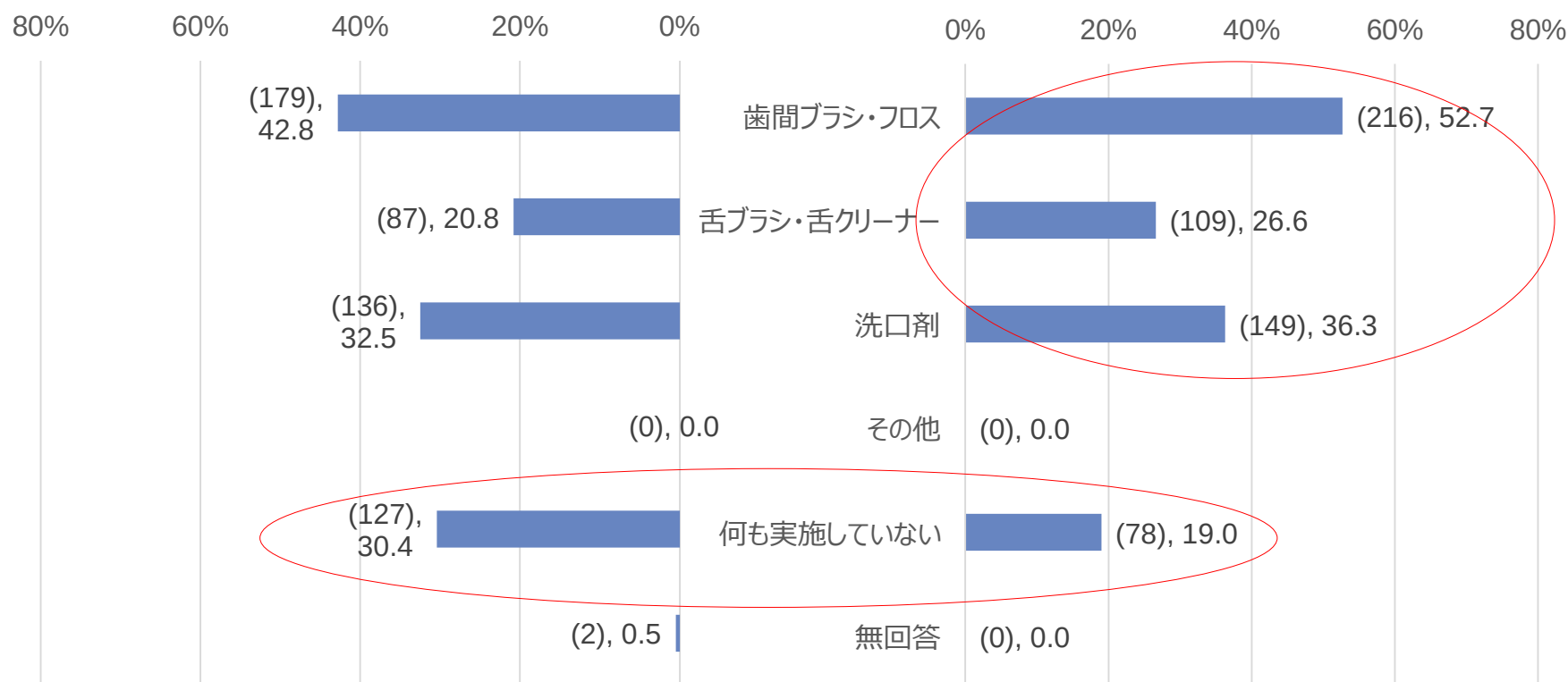
② 歯みがき以外のケア用品の使用

- 歯科健診の実施前・実施後の歯みがき以外のケア用品の使用について、**全ての回答選択肢**で使用する者の割合が**増加**しており、「何も実施していない」と回答する者の割合が**減少**した。

セルフケア（歯みがき以外のケア用品の使用）

簡易な歯科検査実施前 n=418

簡易な歯科検査実施後 n=410



《第二九州工場》

歯科健診・歯科保健指導実施前後の参加者のセルフケアの状況

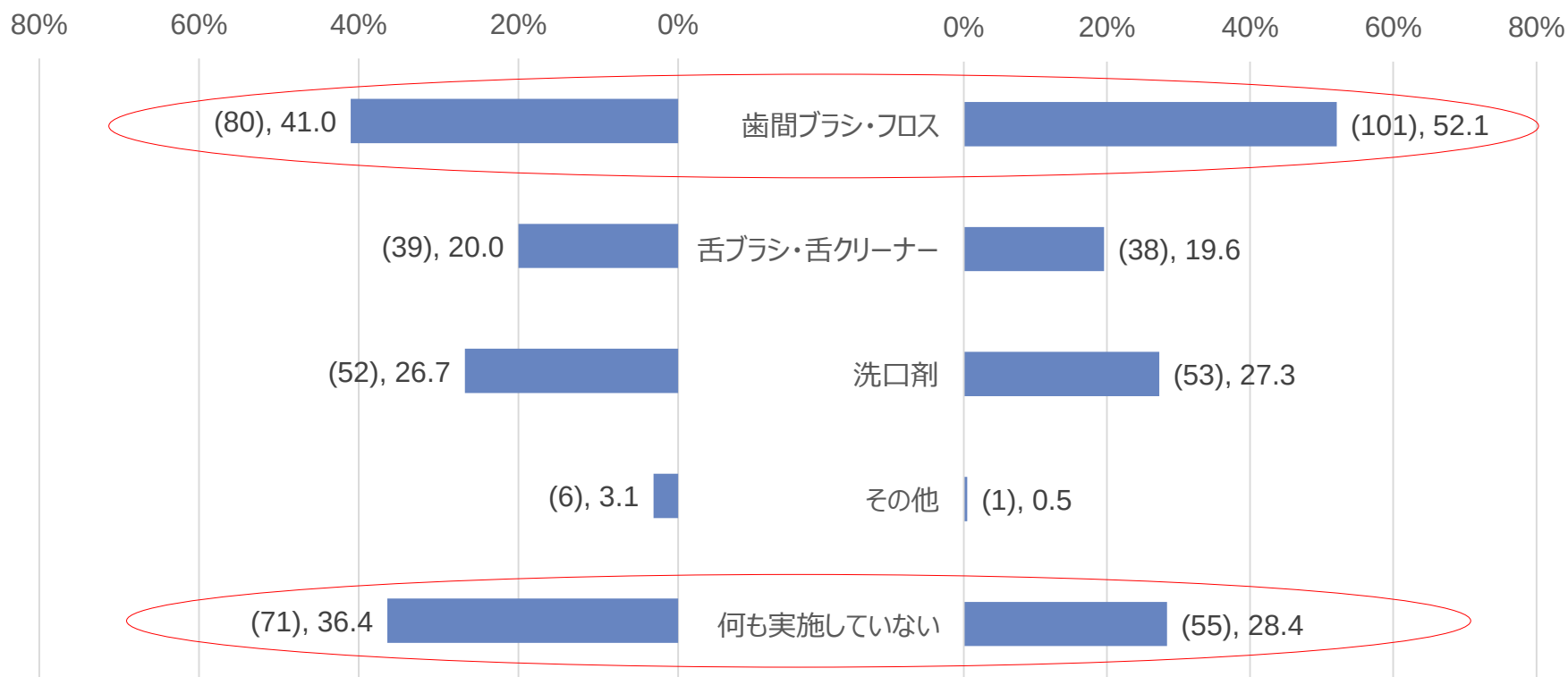
②歯みがき以外のケア用品の使用

- 歯科健診の実施前・実施後の歯みがき以外のケア用品の使用について、「**歯ブラシ・フロス**」を使用する者の割合が**増加**し、「何も実施していない」と回答する者の割合が**減少**した。

セルフケア（歯みがき以外のケア用品の使用）

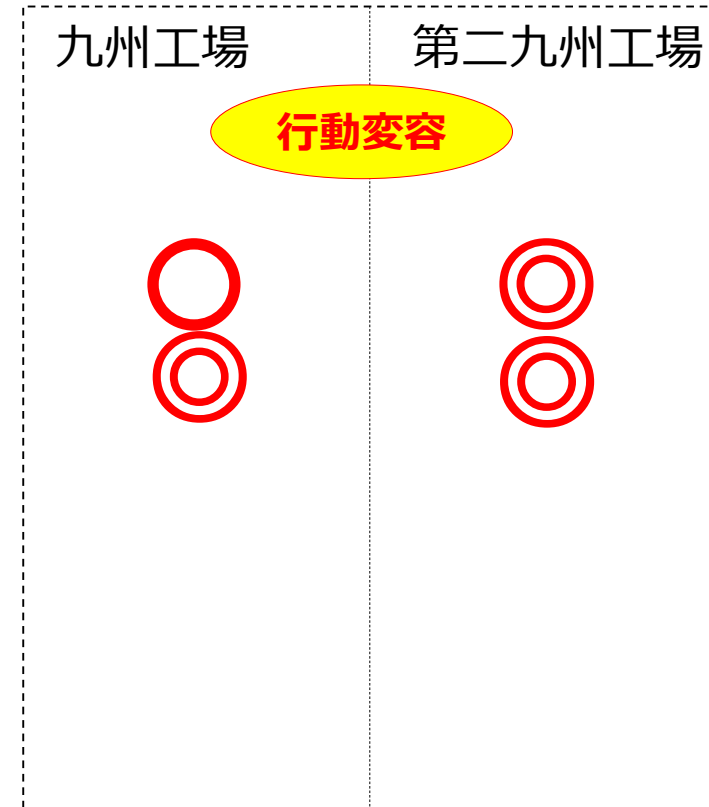
歯科健診実施前 n=195

歯科健診実施後 n=194



アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識



両工場で、歯みがき以外のケア用品の使用が増加
特に「歯ブラシ・フロスを使用する」者が増加している

オンライン講義で歯ブラシ・フロスの使い方について説明があったことや、
歯科健診では歯科衛生士から直接指導されたことで、具体的な行動に繋がった

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識

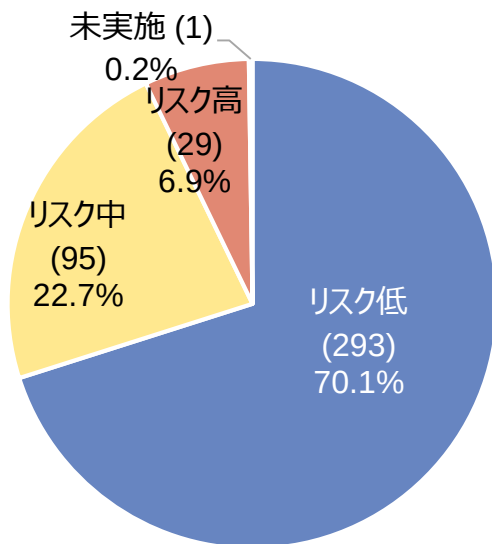


簡易な歯科検査実施後の参加者の歯科受診状況

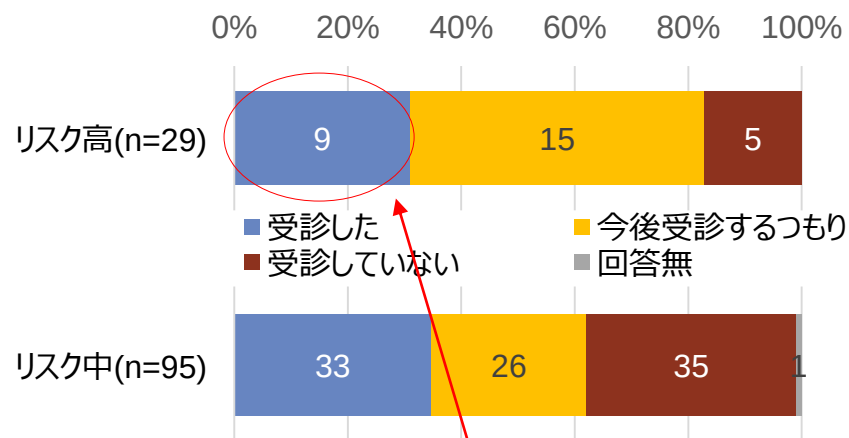
- 簡易な歯科検査の結果、リスク低群の割合が7割と多い結果となった。
- リスク高の8割以上が「受診したまたは受診するつもりがある」と答えており、受診意思が高い。リスク中でも6割が受診意向を示しており、受診行動につながっていると評価できる。

簡易な歯科検査の結果とその後の歯科受診状況

簡易な歯科検査の結果 n=418



簡易な歯科検査の結果別歯科受診状況



受診率 約31%

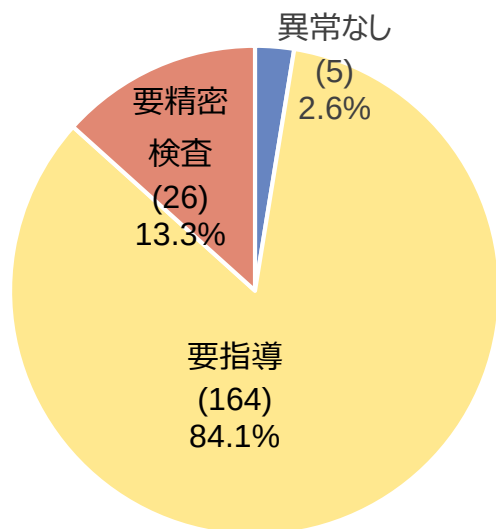
- アドチェック：A, B, Cの判定をそれぞれリスク低, 中, 高とした

歯科健診・歯科保健指導実施後の参加者の歯科受診状況

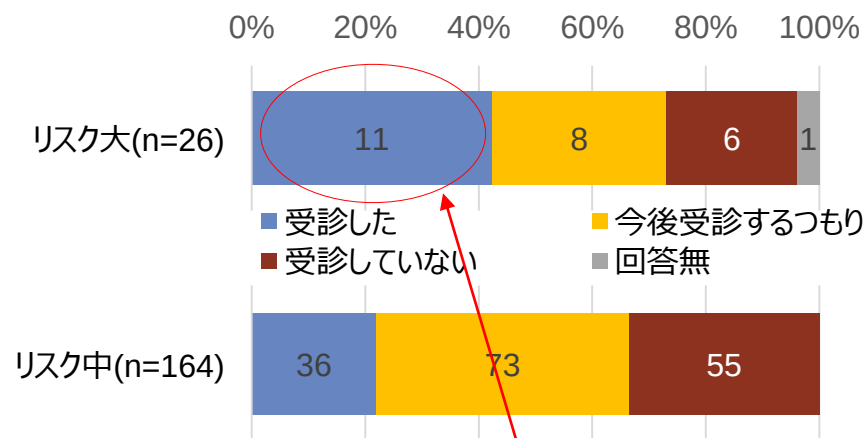
- 歯科健診の結果、リスクが高かった者ほど、歯科受診した者の割合が高く、その後の歯科受診行動につながっていることが伺える。

歯科健診の結果とその後の歯科受診状況

歯科健診の結果 n=195



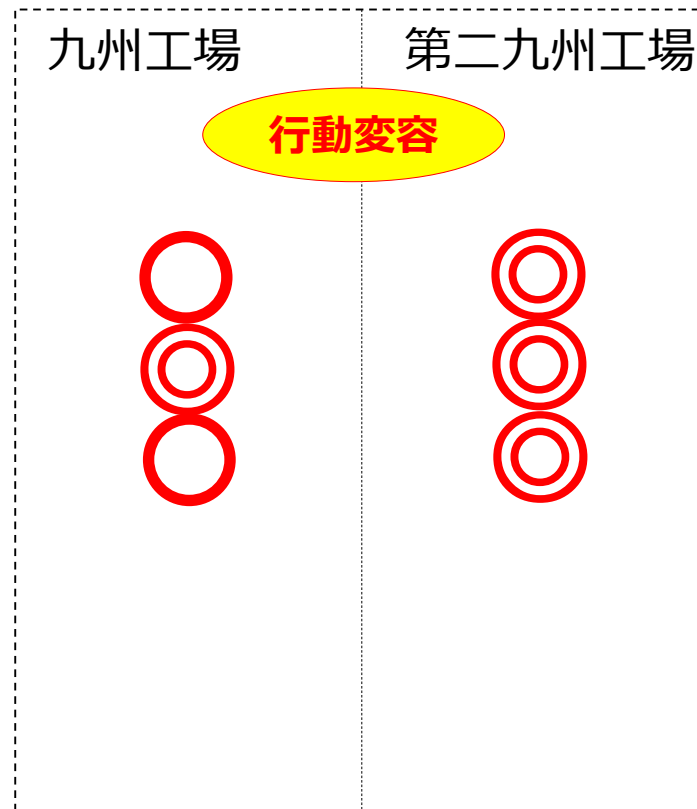
歯科健診の結果別歯科受診状況



受診率 約42%

アンケート内容

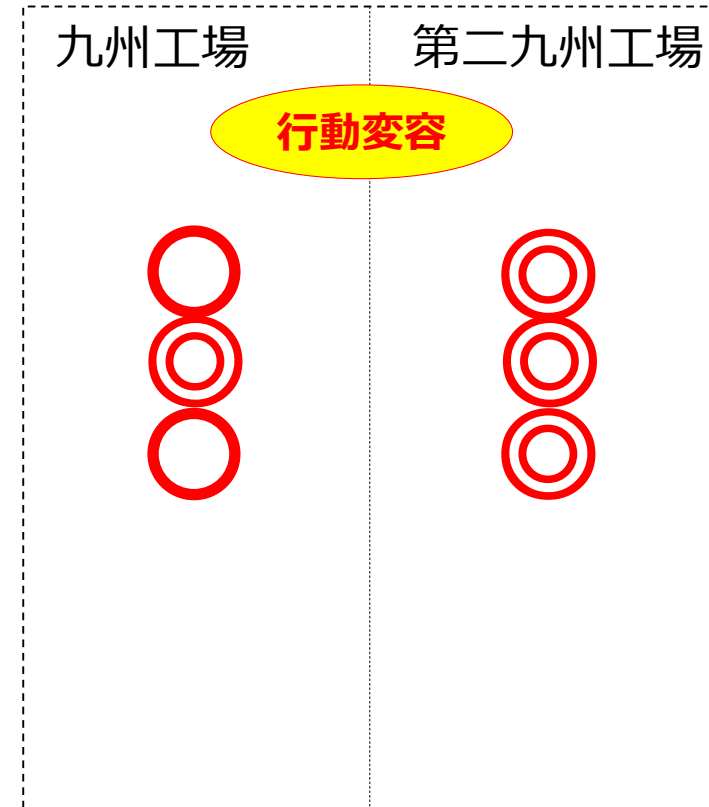
- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識



両工場で、リスクの高かった者ほど受診意思が高く、受診行動にもつながっている。
リスク高/リスク大における受診率を比較すると、第二九州工場の方がより高い受診率となっている。

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識

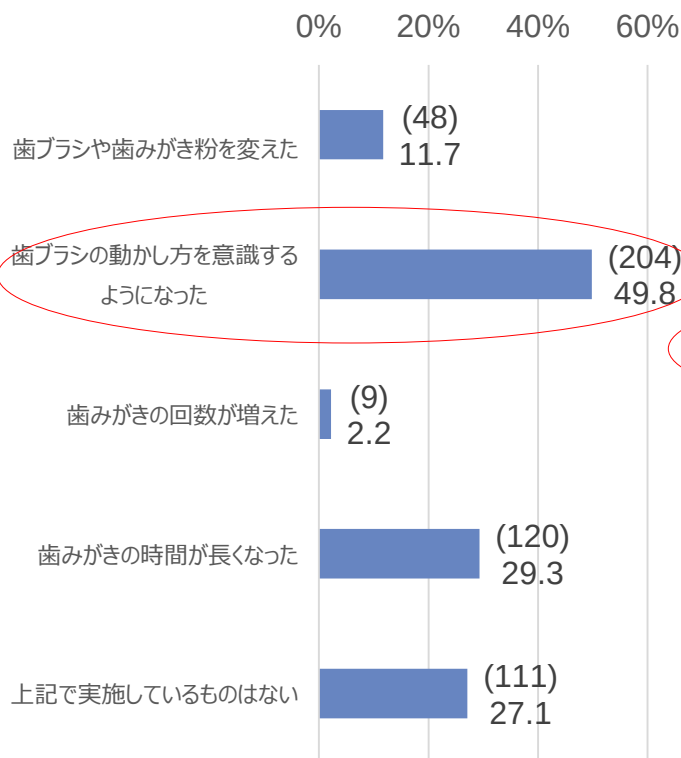


簡易な歯科検査実施後の参加者のセルフケアの状況

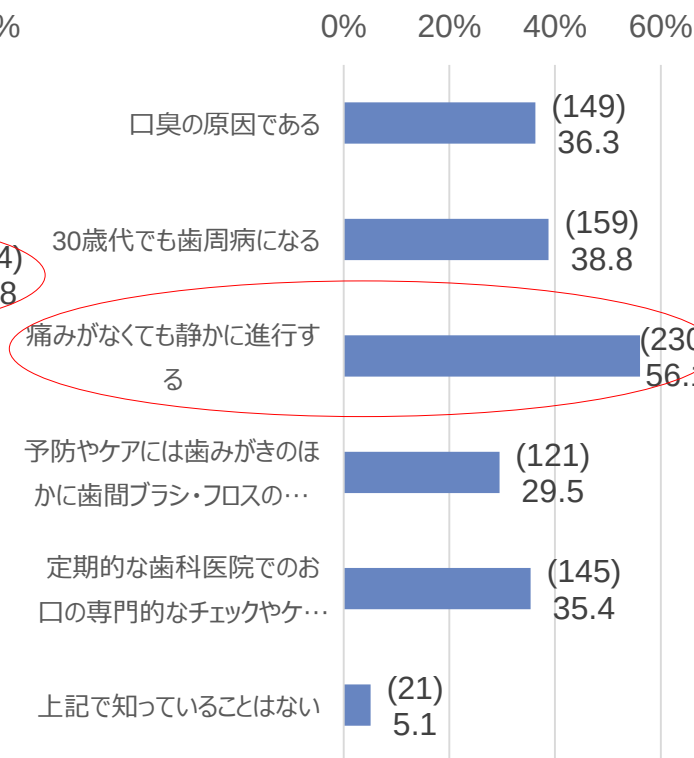
- 歯周病に関する知識として、「痛みがなくても静かに進行する」ことは56%、それ以外の項目でも3~4割の参加者が歯科検査をきっかけに知ったと回答している。
- セルフケア行動の変化として「歯ブラシの動かし方への意識」や「歯みがきの時間が長くなった」等、丁寧な歯みがきを行うことができています。

セルフケア・意識・知識の変化

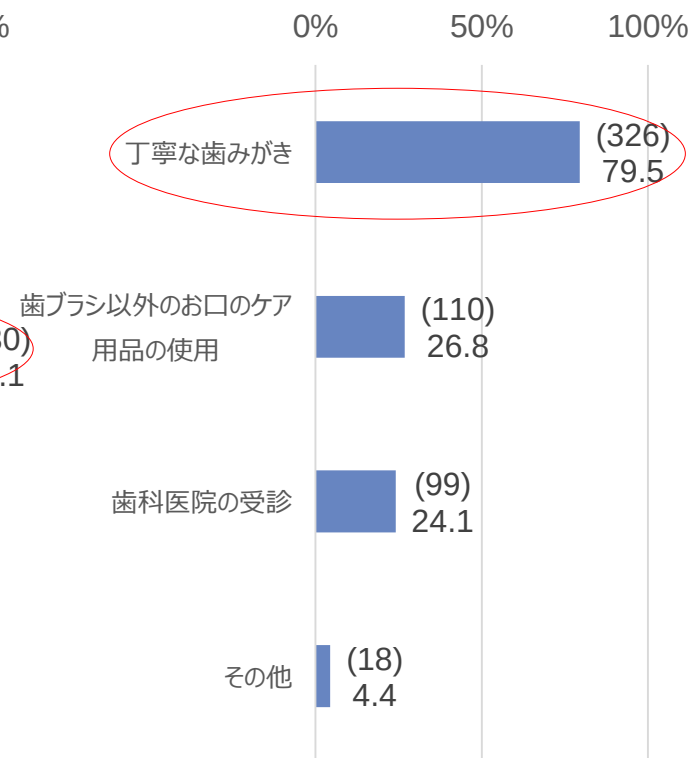
簡易な歯科検査後の
歯みがきでの心がけ n=410



簡易な歯科検査をきっかけに
知ったこと n=410



簡易な歯科検査実施後の
お口のケアに関する意識 n=410

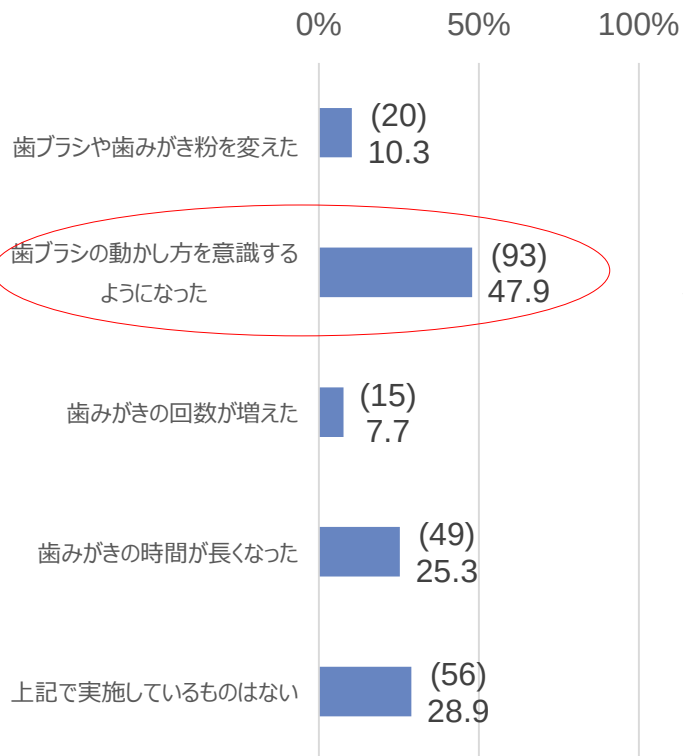


歯科健診・歯科保健指導実施後の参加者のセルフケア

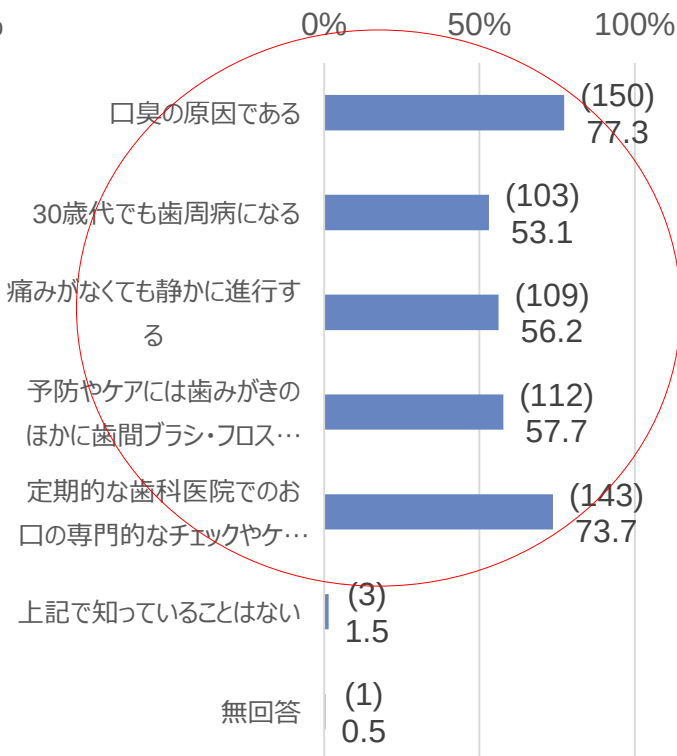
➤ 歯科健診実施後のセルフケア・意識の変化として、**歯ブラシの動かし方を意識し丁寧な歯みがきを行うようになった**ことが伺える。また、歯周病が口臭の原因であることや定期的な歯科医院の受診が必要であることについては**7割以上**が歯科健診をきっかけに知ったと回答している。

セルフケア・意識・知識の変化

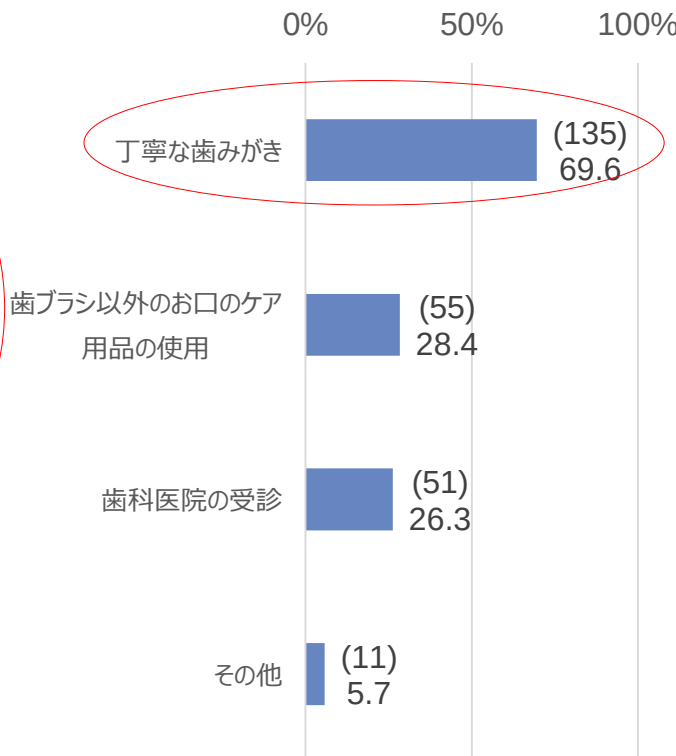
歯科健診後の
歯みがきでの心がけ n=194



歯科健診をきっかけに
知ったこと n=194

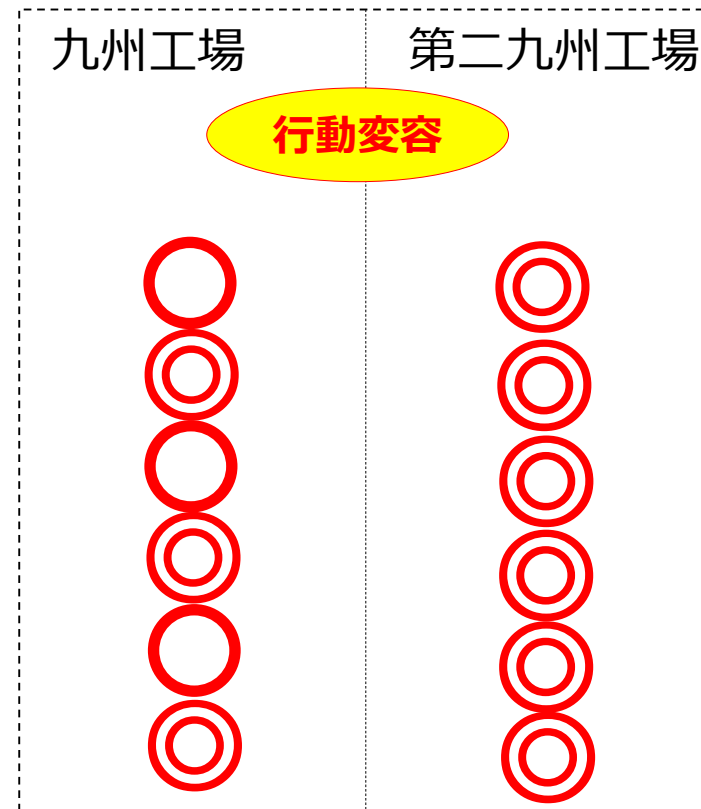


歯科健診実施後の
お口のケアに関する意識 n=194



アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識

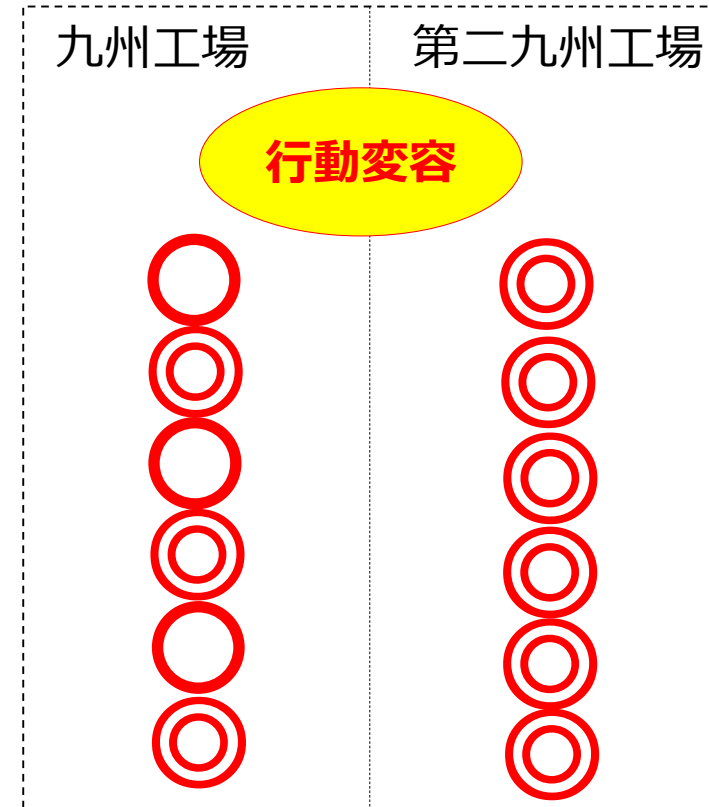


両工場で、「歯ブラシの動かし方を意識するようになった」者が約50%になっており、意識やセルフケアの変化に繋がっている。

比較すると、九州工場ではより多くの者が「丁寧な歯みがき」を意識するようになっている。

アンケート内容

- 参加者の歯科受診状況（実施前）
- 参加者のセルフケアの状況（実施前後）
 - ① 歯みがきの頻度
 - ② 歯みがき以外のケア用品の使用
- 参加者の歯科受診状況（実施後）
- 参加者のセルフケアの状況（実施後）
 - ① 歯みがきでの心がけ
 - ② 検査をきっかけに知ったこと
 - ③ お口のケアに関する意識



2工場を比較すると…

- ・両工場ともに、実施内容が行動変容に繋がっている
- ・歯科医師や歯科衛生士より対面で個別指導を受けることで、その後の行動変容により大きな効果があらわれた
- ・歯科保健指導は、定期的に継続して行くと全従業員の意識変容に効果的

(参考) アンケート結果まとめ

	九州工場	第二九州工場
モデルタイプ	タイプ4 ・簡易な歯科検査 ・歯科保健指導（オンライン講座）	タイプ2 ・歯科健診（対面） ・歯科保健指導（対面）
対象	全従業員対象⇒参加者 418名 （参加率約90%）	希望者 195名 （参加率約50%）
歯みがきの頻度	・わずかに増加	・増加
ケア用品の使用	・すべて項目で使用増加 ・「なにもしていない」が減少	・歯間ブラシ・フロスの使用増加 ・「なにもしていない」が減少
歯科受診状況	・リスク高・リスク中のうち約3割が受診済み ・リスク高では8割以上が受診意向あり ・リスク中では6割以上が受診意向あり	・リスク大の4割以上が受診済み ・リスク中の2割以上が受診済み ・リスク大・リスク中の7～8割が受診意向あり
セルフケア状況	・3～4割が「歯科健診をきっかけに知った」と回答 ・8割が丁寧な歯みがきを行うようになった	・7割以上が「歯科健診をきっかけに知った」と回答 ・7割が丁寧な歯みがきを行うようになった

今回の取り組みでの工夫や苦労した点

九州工場

▼これまでの取り組みからみえてきた課題

- ①歯周病のリスクが高いと診断された方の歯科受診に確実につなげる
- ②歯周病をはじめ、歯やお口の健康について理解し、日々で実践できるように

①歯周病のリスクが高いと診断された方の歯科受診に確実につなげるために

⇒「医療機関受診報告書」により、実際に受診したかどうかまでフォロー
さらに、地域の歯科医師会と連携し、受診時の対応について依頼



2023 年度 歯科健診・歯周病検査

沢井製薬株式会社 九州工場

今回（2023.10.24）実施しました歯周病リスク検査（アドチェック®）において、あなたの検査の判定結果は、Cでした。

これは、【歯周病のリスクが高い】ことを表しています。歯科医院での精密検査が必要です。

下記の医療機関を参考に、早めに受診しましょう。受診の際は、保険証をお忘れなく。

★医療機関を受診後は、報告書の提出を保健師塚本までお願いいたします。

<飯塚歯科医師会>
飯塚市・嘉麻市・桂川町

<直方歯科医師会>
直方市・宮若市・鞍手郡

<粕屋歯科医師会>
古賀市・粕屋郡（7町）

医療機関受診報告書			
受診日	西暦 年 月 日 受診		
医療機関			
今後の指示事項	下記の項目に、○を付けてください。 ・治療継続 ・メンテナンス ・その他（ ）		
氏名 (社員番号)	()	所 属	沢井製薬株式会社 九州工場

2023 年度 歯科健診・歯周病検査

© 2024 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

今回の取り組みでの工夫や苦労した点

九州工場

②歯周病をはじめ、歯やお口の健口について理解し、日々で実践できるように

2022年度から実施してきた結果から、C：リスクが高い（要精査）と判定される割合が、検査者の13%程度（今回では、60名前後）と予想。

C判定を3グループに分けた集団で歯科保健指導（オンライン講座）を、実施。

⇒結果は、C判定 29名（6.3%）と予想を下回った。

結果をもとに、

九州歯科大学 西原学長をはじめ、他教授・准教授の歯科医、歯科衛生士の先生方と相談し、

**リスク検査の未実施者含む全従業員を対象に
歯科保健指導としてオンライン歯科講話を実施**

歯周病についてだけでなく
お口や歯について知りたいことや
日々のケアなどを事前に調査し
先生方と共有

今回の取り組みでの工夫や苦勞した点

第二九州工場

第二九州工場では、歯科健診は工場初の取り組み

⇒ 「参加者が集まらないのでは？」という大きな懸念

ひとりでも多くの従業員に参加してもらうために

① **ポスター**を作成、電子掲示板なども活用し、開催をアピール

初開催 歯科健診

対象者: **全従業員** (パート・派遣社員・TP出向者含む)

実施日: **11月20日(月)・21日(火)**
プレゼンテーションルームにて

初開催の今年は 参加費0円
通常3,000円相当の歯科健診が今年は無料で受診できます

1 **歯科医師・歯科衛生士** による
歯ぐき、歯石、むし歯のチェックなどを実施します

2 **歯科保健指導** が受けられます
(結果に応じた歯磨き指導やアドバイスなど)

3 **ご相談OK**
歯科に関する悩みなどは是非ご相談ください

全従業員へ参加希望のアンケートを管理課からメール配信致します。ご回答にご協力お願い致します。

歯医者さんが苦手でも大丈夫！
治療は行いません

実は...
30代以上の
3人に2人は歯周病
なんです

大抵の
歯が欠ける
原因第1位！

初開催 歯科健診

参加費無料

通常3,000円相当の
歯科健診が今年は無料
で受診できます

是非、ご参加ください

対象者: **全従業員** (パート・派遣・TP出向者含む)

実施内容: **11月20日(月)・21日(火)**
プレゼンテーションルームにて

参加希望アンケートの回答期限: **10月6日(金)AM まで**
回答方法: **Googleフォーム** (メールにて回答依頼を送付致します)

歯科医師・歯科衛生士による
歯ぐき、歯石、むし歯のチェック等
・結果に応じた歯磨き指導
・歯科に関する悩みなど相談もOKです

アンケートへのご回答
ご協力よろしくお願いします

管理課

今回の取り組みでの工夫や苦労した点

第二九州工場

ひとりでも多くの従業員に参加してもらうために

②従業員に**自社アンケート**を実施
⇒「参加を希望しない理由」を調査

▼アンケートの内容

- ・参加を希望する/希望しない
- ・**参加を希望しない理由**
- ・(定期)歯科健診を受診している/受診していない
- ・(定期)歯科健診を受診していない理由
- ・歯の治療を受けているか
- ・歯科健診の頻度はどれくらいか

Q:なぜ「参加を希望しない」?

1位(124票) **自身で普段から歯科健診を受診しているので、必要ない**

2位(23票) **職場の同僚と一緒に受診したくない、恥ずかしい**

3位(14票) **予定が合わない（出張、有給など）**

その他 **他人に口の中を見られたくない、業務が忙しい、歯医者が怖い**

各部署に協力を依頼・ひとり15分程度

ポスターなどでも、今回は健診のみで、歯の治療は行わないことを強調

ど)
歯医者さんが苦手でも大丈夫！
治療は行いません
い

プライバシーに配慮した会場設営
カーテンで仕切る・BGMを流す



⇒「参加を希望しない」方へ個別でフォロー及び勧誘を実施し、丁寧に参加を促す

➡参加希望者「**201名**」（フォロー前は188名） 参加率「**47%**」

※当日欠席などのため実際の参加者は195名

約50%

九州工場：タイプ4

- ・簡易検査（ワクチン接種時に実施）
- ・歯科保健指導（オンライン講座）

全従業員対象

メリット

従業員自身で簡単に検査でき、参加率も高い
工数が少なく済むので、事業所の負担が軽い

デメリット

行動変容に繋がるが、タイプ2に比較するとその効果は少し低い

第二九州工場：タイプ2

- ・歯科健診（単独実施）
- ・歯科保健指導（対面指導）

希望者のみ

メリット

意識・行動変容に繋がり、効果が大きい

デメリット

希望者のみ募集では参加率が低い
全従業員を対象とすると工数が増え、会場や時間に課題あり

課題

- ・希望者のみ⇒参加率が低い、参加していない方をどうフォローするか
- ・タイプ2を全従業員で実施すると、工数が増え、実施期間も2日間⇒4日間に増大、事業所の負担が増える
- ・有料だと参加率が低下する懸念

予防活動を進めるには

- ・希望者だけでなく全従業員が、自身のお口や歯の状態を知る機会が定期的にあること（集団歯科健診や簡易検査）
- ・同時に、専門家による教育機会・歯科保健指導があること
- ・日々のセルフケアを振り返る機会と、プロフェッショナルケアを受ける機会の、両方が必要

理想としては…

- ・例年はセルフチェックの機会として簡易検査を実施し
- ・2年に1度や、年齢の節目に、歯科健診を受診できる体制



**従業員ひとりひとりの口腔の健康の
保持・増進や健康寿命につながる**

最後までご清聴ありがとうございました

なによりも患者さんのために

沢井製薬株式会社

Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.



ジエネちゃん[®]

沢井製薬のジェネリック医薬品
啓発キャラクターです

参考資料

なによりも患者さんのために

沢井製薬株式会社

Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.



《九州工場》 (参考) 案内資料・結果報告書

対象者 各位

2023年10月16日

歯周病リスク検査について

検体提出日: 2023年10月24日(火)

会場: 第一応接室

時間: 12:30~17:00 受付

*各課の時間割にて、ワクチン接種を受けない方も
会場で検体提出を行ってください。



~提出までの手順~

①『必ずお読み下さい』検体の正しい採り方』の内容を確認する

・配布の歯周病リスク検査キットの内容物を確認する

②【お口の健康チェックシート】記載

・シートの氏名等基本事項の記載とくご自身の状況>Q1~Q9 までの内容にすべて
記載してください ※メールアドレスは、会社アドレス(〇〇〇〇@sawai.co.jp)を記載
のこと

③歯周病リスク検査を実施

・検体提出日(10/24(火))の朝、起床直後に検体キットを使って採取してください

※飲食や歯みがきの前に採取します

具体的な採取方法については、

『必ずお読み下さい』検体の正しい採り方』を参照のこと

~提出するもの~

④検体(抽出液) *1 と【お口の健康チェックシート】 *2 を提出

・所属、氏名のタックシールが貼ってある
透明のチェックつきの袋に、*1、*2 を入
れる

*1 検体(抽出液)⇒青の提出袋に入れる

*2【お口の健康チェックシート】

※採取日、氏名やその他質問事項の記載も
れが無い、袋に入れる際は、確認を!

⑤検査結果返却...11月末ごろ

⑥アンケートの回答...結果返却から1か月後ごろ メールにて配信

*検査を受けた方は、アンケートの回答は必須です!



問い合わせ先: 九州工場 管理課

e-mail:

歯周病原因菌酵素活性測定 結果報告書

ID: _____

実施日: 2021/6/20

渡辺 次郎 様の検査結果は、下記の通りです。

検査名	検査項目
歯周病リスク検査 (アドチェック®)	歯周病原因菌産生酵素
検体	判定方法
舌ぬぐい検体	舌ぬぐい検体中の酵素活性の強さを調べます。

*当社では、検査の精度向上、予防医学の貢献を目指し、個人のプライバシーを保護した上で、皆様の貴重な検査結果を活用し、データの分析に役立てて参りたいと考えております。

検査項目名	判定結果
歯周病リスク検査	A

歯周病イメージです。

判定	コメント
A	リスク低い 口腔内の歯周病菌の酵素活性はとても低いと判定されました。ただ、今回のように口の中 全体が健康な状態でも、歯の磨き癖が要因となって、特定の歯が軽度の歯周炎を起こす場合があります。そこで、一度、歯科医院にて全ての歯を健康な状態を確認し、その状態を維持することをお勧めします。
B	歯周病原因菌の酵素活性が見受けられます。これまでのセルフケアに加えて、デンタルフロスやマウスリンスを用いるなど新たなセルフケアを行ってください。あわせて、歯科医院で、自分にフィットした清掃方法の指導および歯のクリーニングを受けてください。その後、年に数回、定期的な検査をお勧めします。
C	リスク高い 歯科医院での精密検査をお勧めします。

歯周病になると...

歯周病は、痛みなどの自覚症状がなく進行します。症状が進むと歯肉から出血し、さらに症状が進むと歯が抜けることもあります。早めのかかりつけ歯科医院受診をお勧めします。



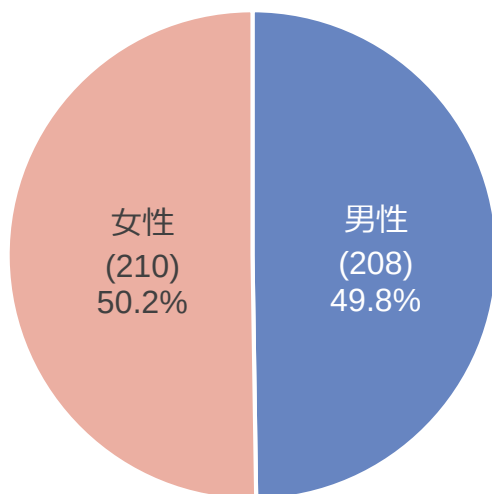
お問い合わせ先

(参考) 参加者の属性

- 参加者の性別の割合は男性が49.8%、女性が50.2%
- 参加者の年代は20~40代の比較的若年の層が8割を占めた（30代27.5%、40代26.3%、20代24.6%）

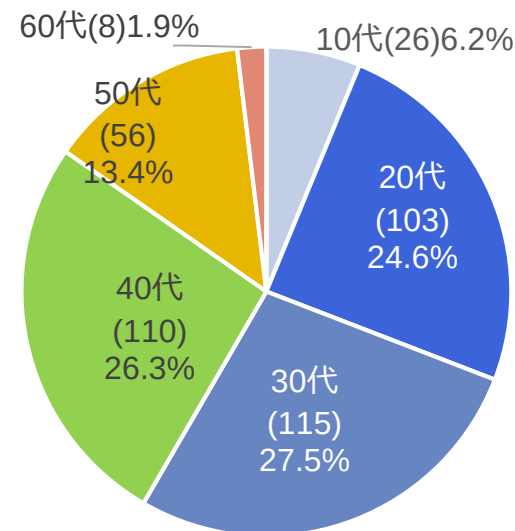
モデル事業参加者の性別

n=418



モデル事業参加者の年齢構成

n= 418

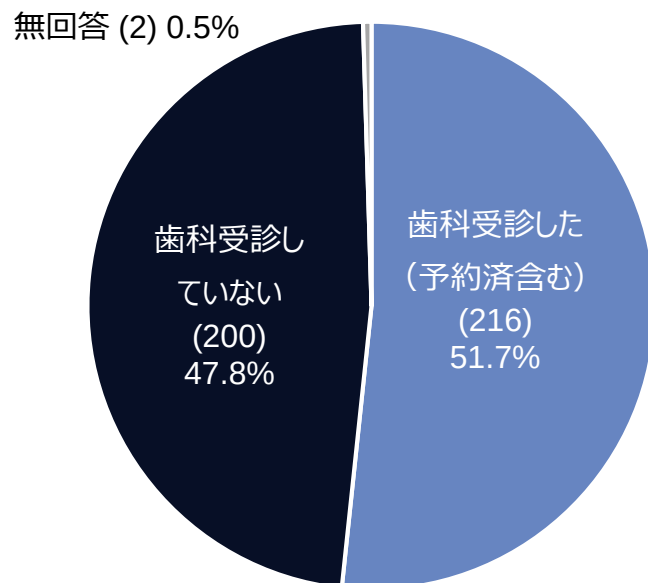


▼九州工場の男女比（全従業員）・・・同一
男性51%：女性49%

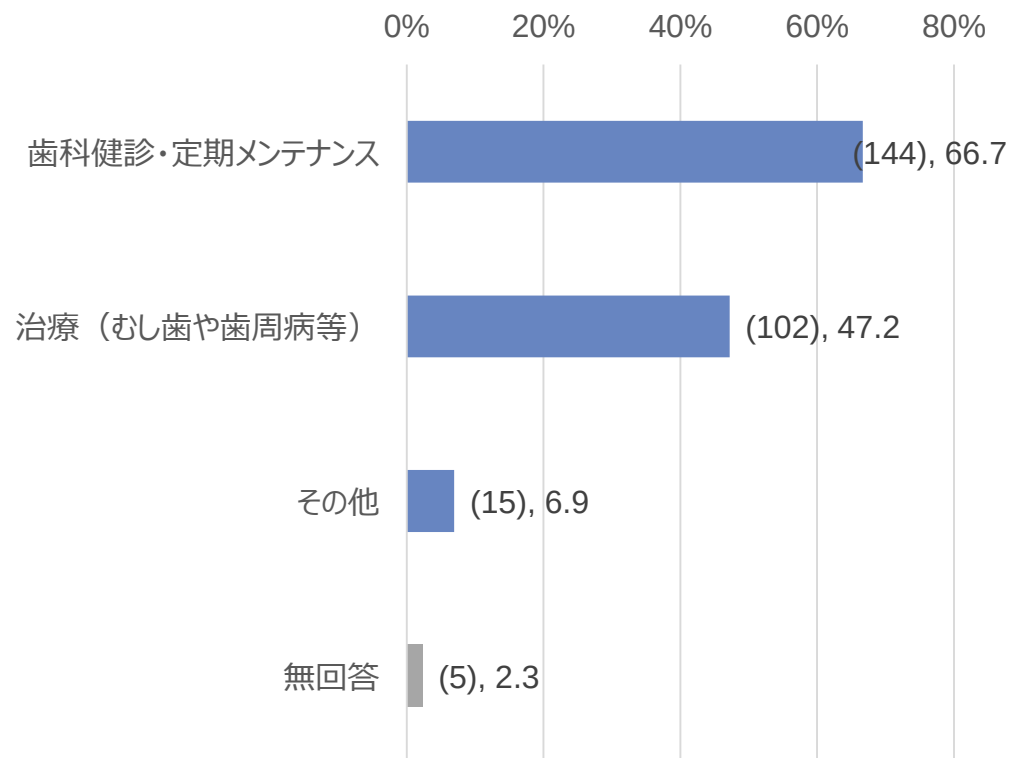
簡易な歯科検査実施前の参加者の歯科受診状況

- 歯科健診受診者の過去1年間の歯科受診率は**51.7%**で**約半数の方が受診**している。
- うち、**66.7%**が**定期メンテナンス**として定期的な受診ができている。

簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診率 n=418



簡易な歯科検査実施前
過去1年間の歯科受診目的 n=216



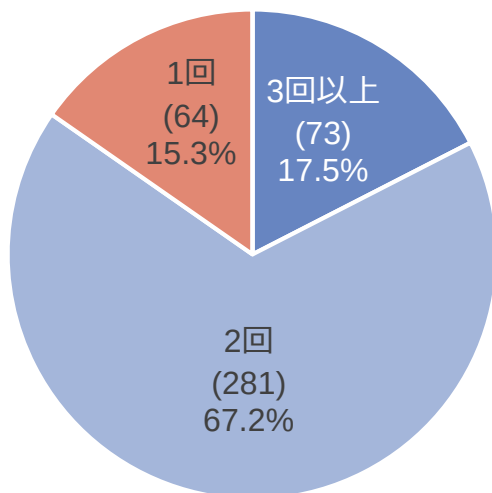
簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

① 歯みがきの頻度

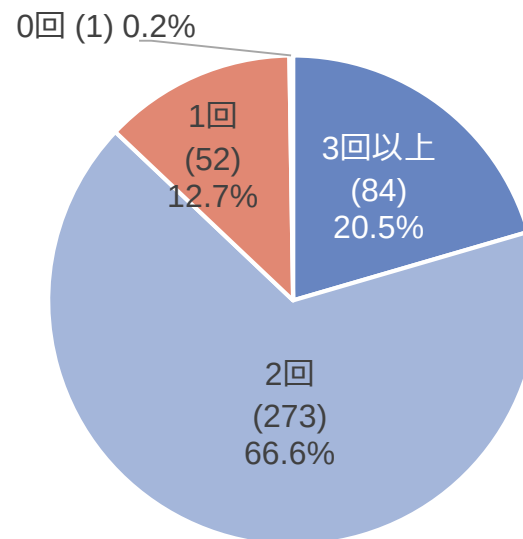
- 歯科健診の実施前・実施後で1日当たりの歯みがき回数は**わずかに増加**傾向であった。

セルフケア（歯みがきの頻度）

簡易な歯科検査実施前 n=418



簡易な歯科検査実施後 n=410



簡易な歯科検査実施前後の参加者のセルフケアの状況

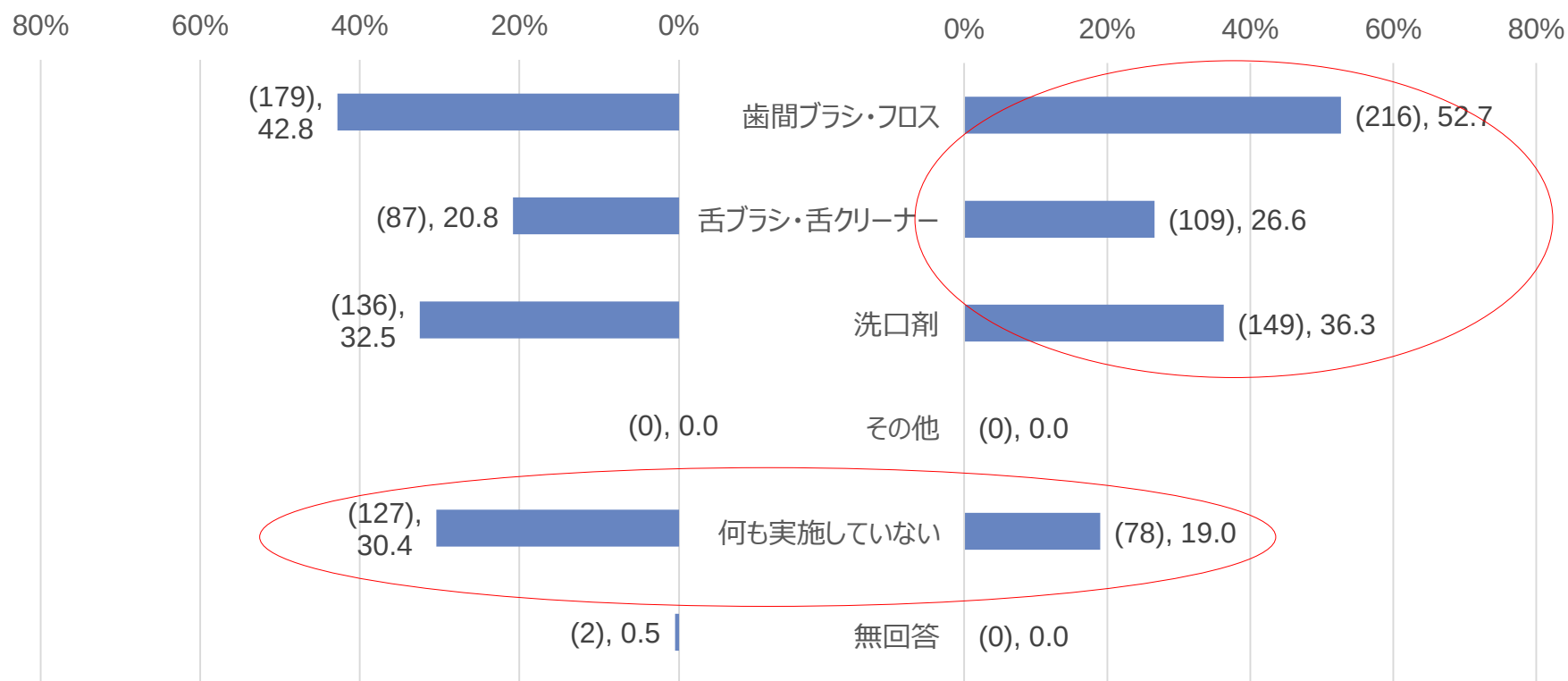
② 歯みがき以外のケア用品の使用

- 歯科健診の実施前・実施後の歯みがき以外のケア用品の使用について、**全ての回答選択肢**で使用する者の割合が**増加**しており、「何も実施していない」と回答する者の割合が**減少**した。

セルフケア（歯みがき以外のケア用品の使用）

簡易な歯科検査実施前 n=418

簡易な歯科検査実施後 n=410

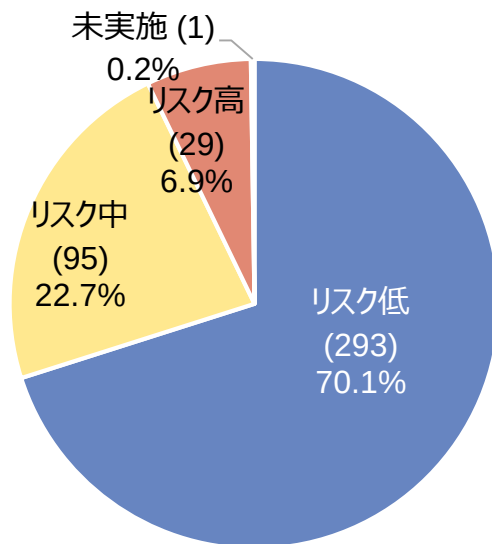


簡易な歯科検査実施後の参加者の歯科受診状況

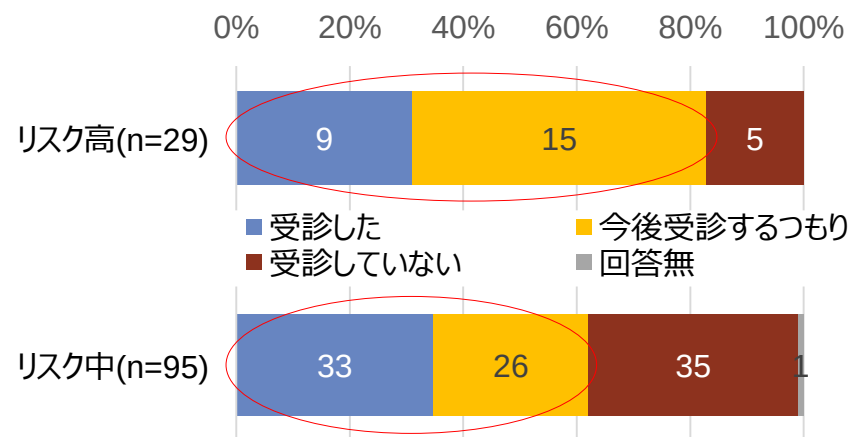
- 簡易な歯科検査の結果、リスク低群の割合が7割と多い結果となった。
- リスク高の8割以上が「受診したまたは受診するつもりがある」と答えており、受診意思が高い。リスク中でも6割が受診意向を示しており、受診行動につながっていると評価できる。

簡易な歯科検査の結果とその後の歯科受診状況

簡易な歯科検査の結果 n=418



簡易な歯科検査の結果別歯科受診状況



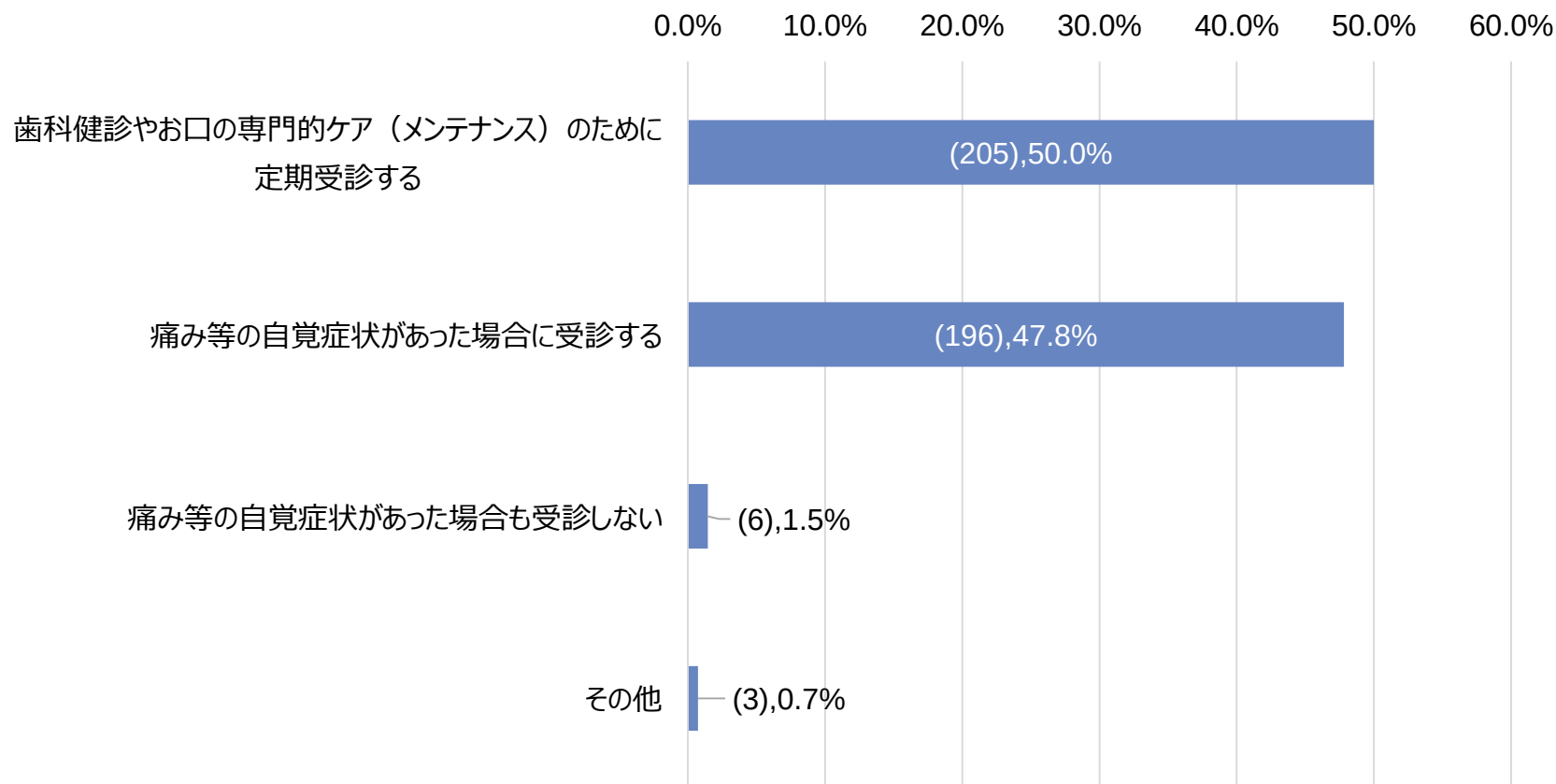
- アドチェック：A, B, Cの判定をそれぞれリスク低, 中, 高とした

簡易な歯科検査実施後の参加者の歯科受診状況

- 歯科検査実施後に歯科医院はどのような場合に受診をするかを尋ねた際の回答として、定期受診すると回答した者は50%であり、参加者のうち半数はセルフケア行動として定期的な歯科受診をする必要性を理解している。

簡易な歯科検査実施後

の歯科受診目的 n = 410

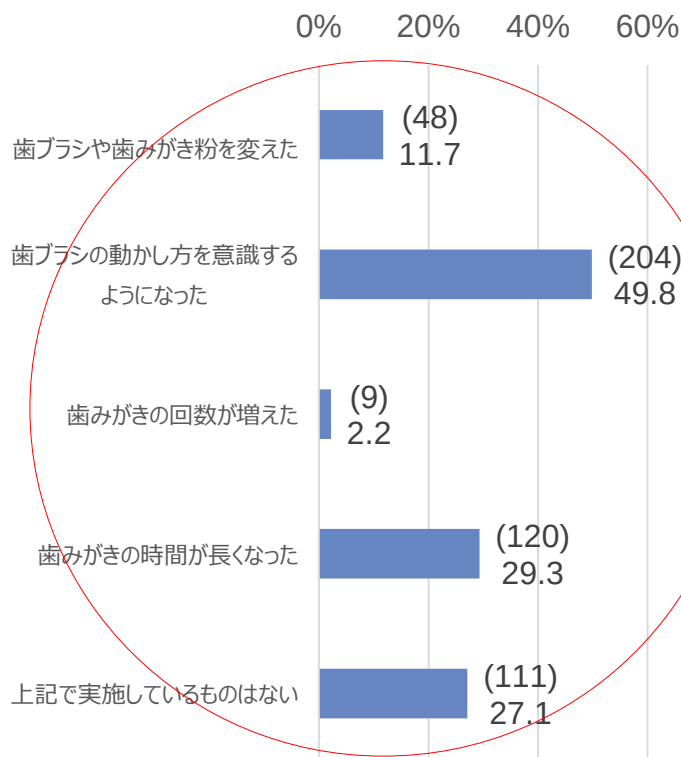


簡易な歯科検査実施後の参加者のセルフケアの状況

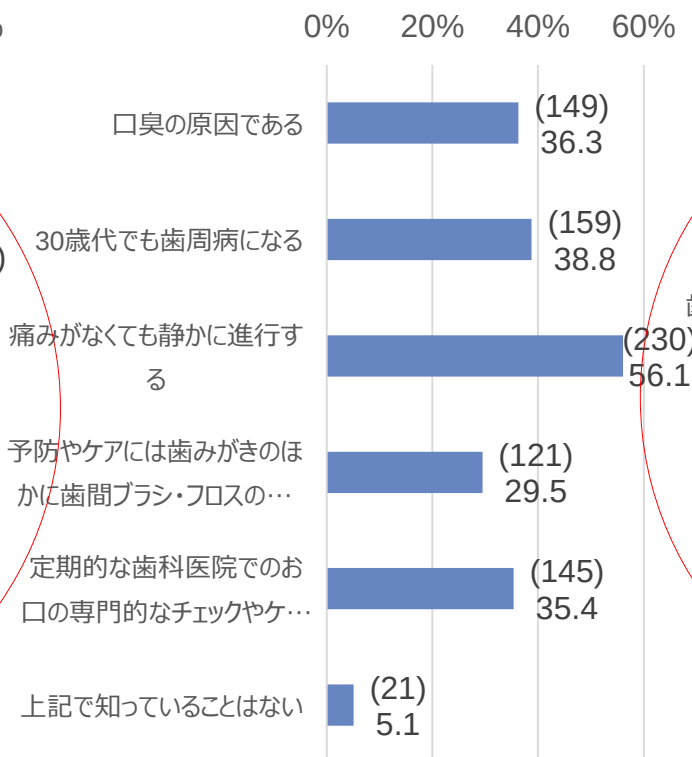
- 歯周病に関する知識として、「痛みがなくても静かに進行する」ことは56%、それ以外の項目でも3~4割の参加者が歯科検査をきっかけに知ったと回答している。
- セルフケア行動の変化として「歯ブラシの動かし方への意識」や「歯みがきの時間が長くなった」等、丁寧な歯みがきを行うことができています。

セルフケア・意識・知識の変化

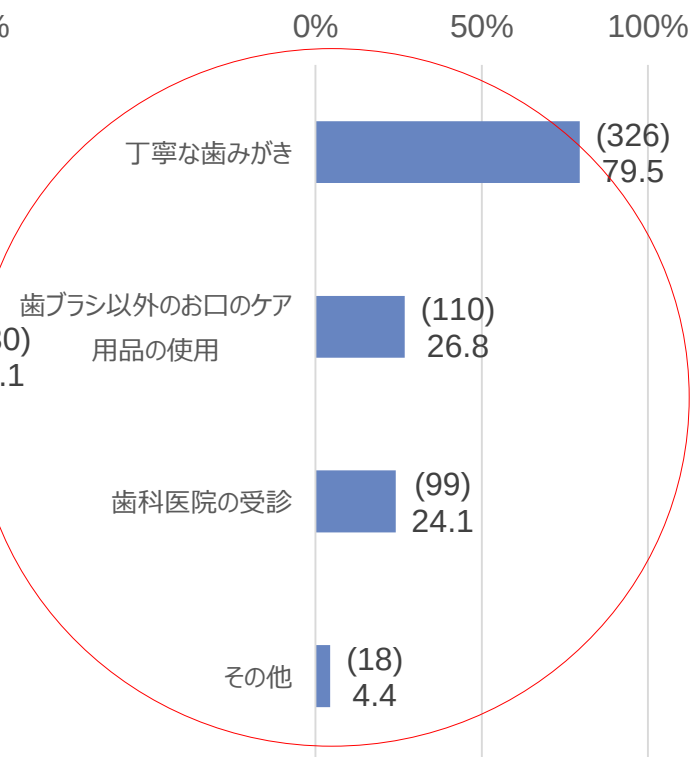
簡易な歯科検査後の
歯みがきでの心がけ n=410



簡易な歯科検査をきっかけに
知ったこと n=410



簡易な歯科検査実施後の
お口のケアに関する意識 n=410



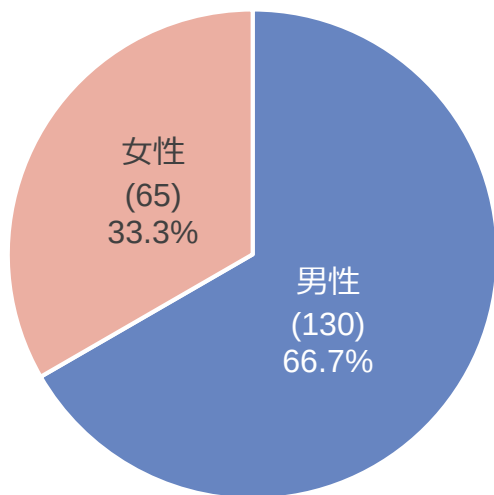
《第二九州工場》

(参考) 参加者の属性

- 参加者の性別の割合は**男性が66.7%**、女性が33.3%で**男性の割合が多い**。
- 参加者の年代は30代が34.4%、20代が31.8%であり、**若年層の参加が多くみられた**。

モデル事業参加者の性別

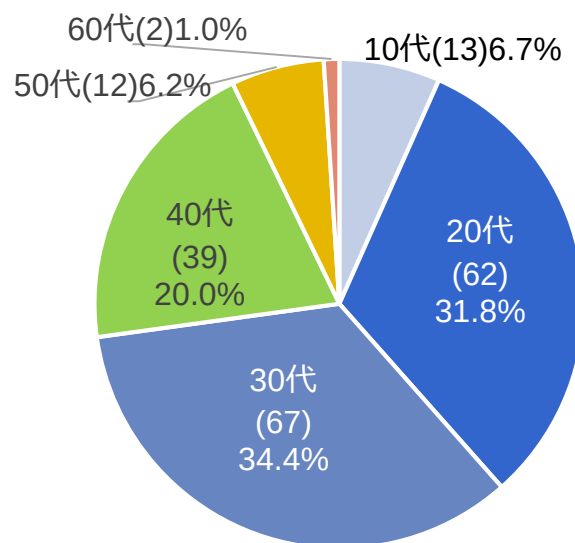
n=195



▼第二九州工場の男女比（全従業員）
男性63%：女性37% ……ほぼ同一

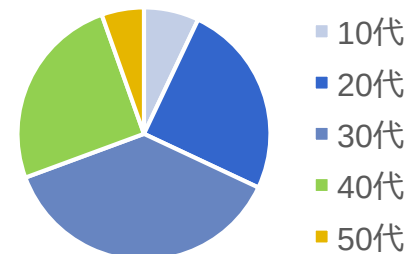
モデル事業参加者の年齢構成

n= 195



**20代
+
30代
=
66.2%**

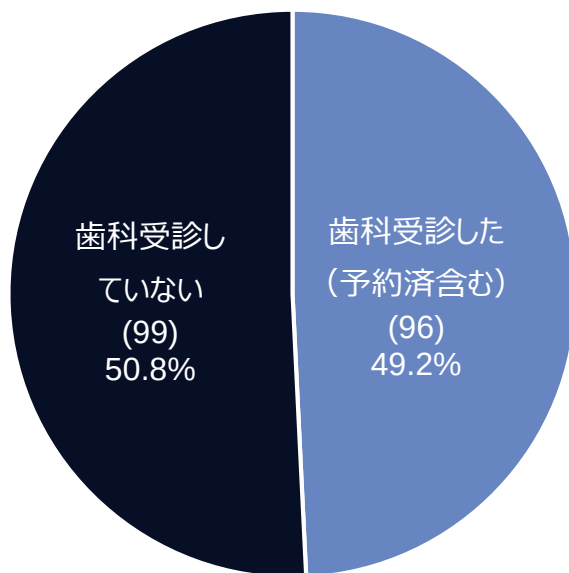
▼第二九州工場の年齢構成
……ほぼ同一



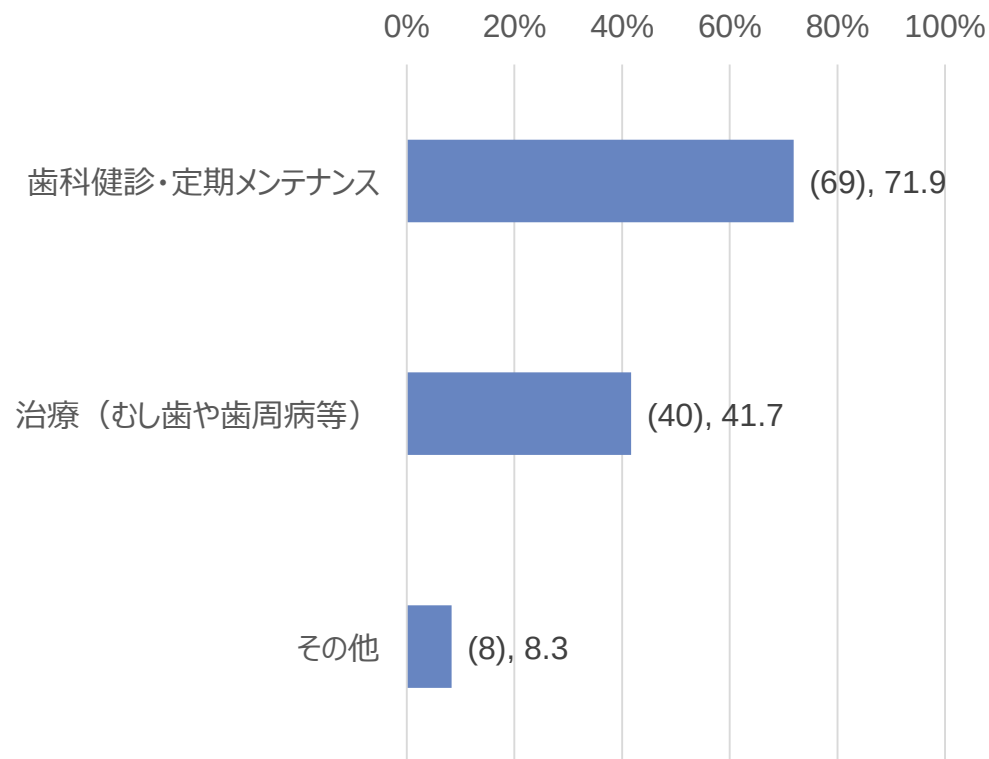
歯科健診・歯科保健指導実施前の参加者の歯科受診状況

- 歯科健診受診者の過去1年間の歯科受診率は**49.2%**で**約半数の方が受診している**。
- うち、**71.9%**は**定期メンテナンス**として受診をしている。

.....
歯科健診実施前
過去1年間の歯科受診率 n=195
.....



.....
歯科健診実施前
過去1年間の歯科受診目的 n=96
.....



《第二九州工場》

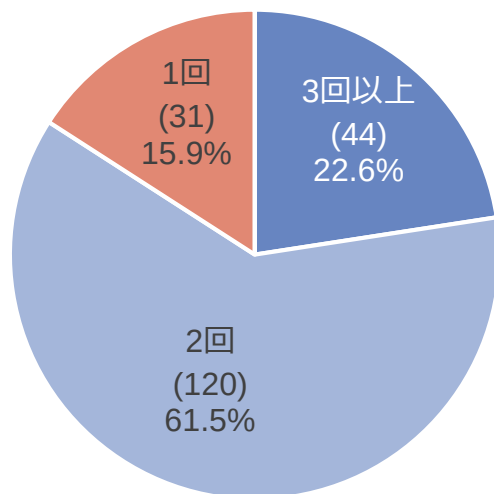
歯科健診・歯科保健指導実施前後の参加者のセルフケアの状況

① 歯みがきの頻度

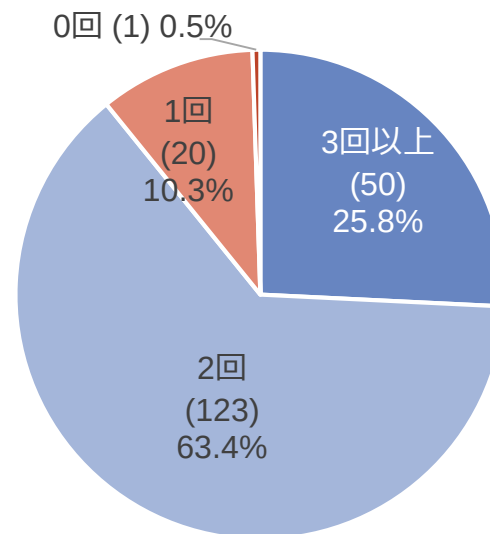
- 歯科健診の実施前・実施後で1日当たりの歯みがき回数は**増加傾向**にあった。

セルフケア（歯磨きの頻度）

歯科健診実施前 n=195



歯科健診実施後 n=194



〈1回〉 参加前 15.9% ➡ 参加後 10.3% **減少**
〈2回・3回以上〉 少し**増加**

**行動変容に
繋がっている**

《第二九州工場》

歯科健診・歯科保健指導実施前後の参加者のセルフケアの状況

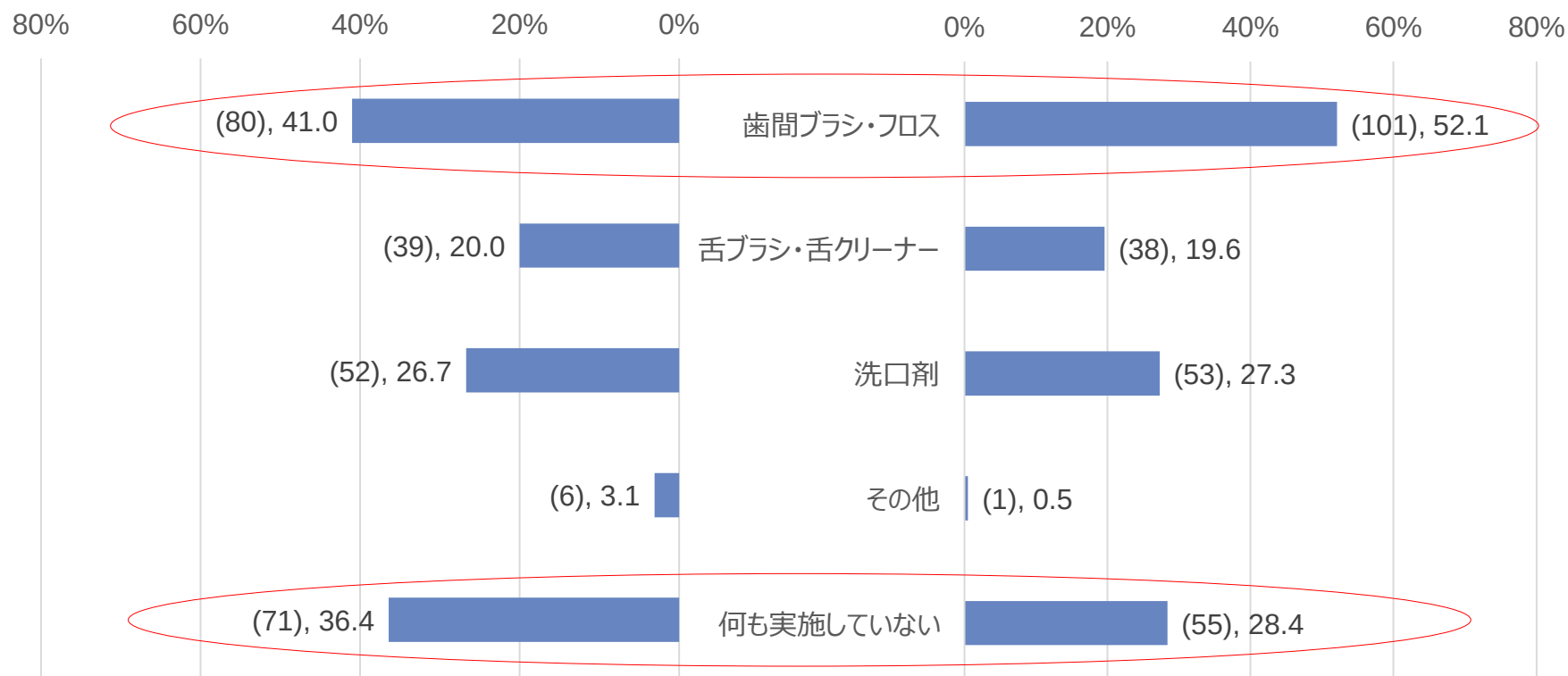
② 歯みがき以外のケア用品の使用

- 歯科健診の実施前・実施後の歯みがき以外のケア用品の使用について、「歯ブラシ・フロス」を使用する者の割合が**増加**し、「何も実施していない」と回答する者の割合が**減少**した。

セルフケア（歯みがき以外のケア用品の使用）

歯科健診実施前 n=195

歯科健診実施後 n=194

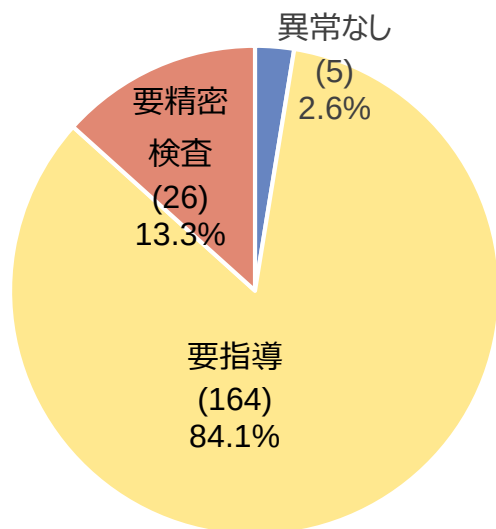


歯科健診・歯科保健指導実施後の参加者の歯科受診状況

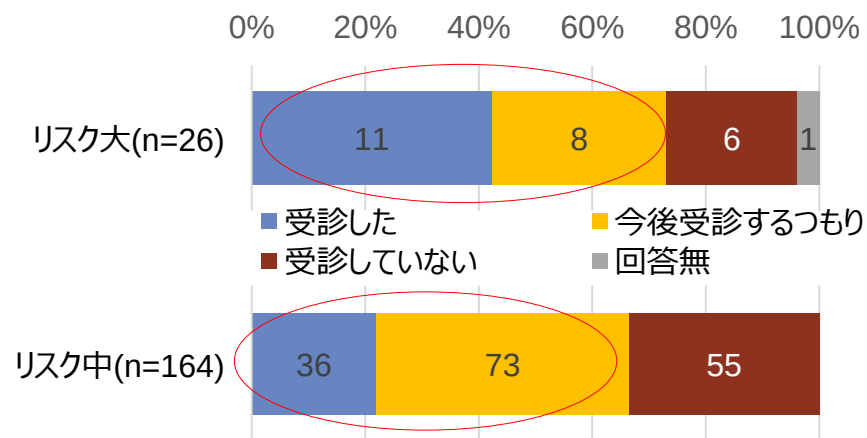
- 歯科健診の結果、リスクが高かった者ほど、歯科受診した者の割合が高く、その後の歯科受診行動につながっていることが伺える。

歯科健診の結果とその後の歯科受診状況

歯科健診の結果 n=195



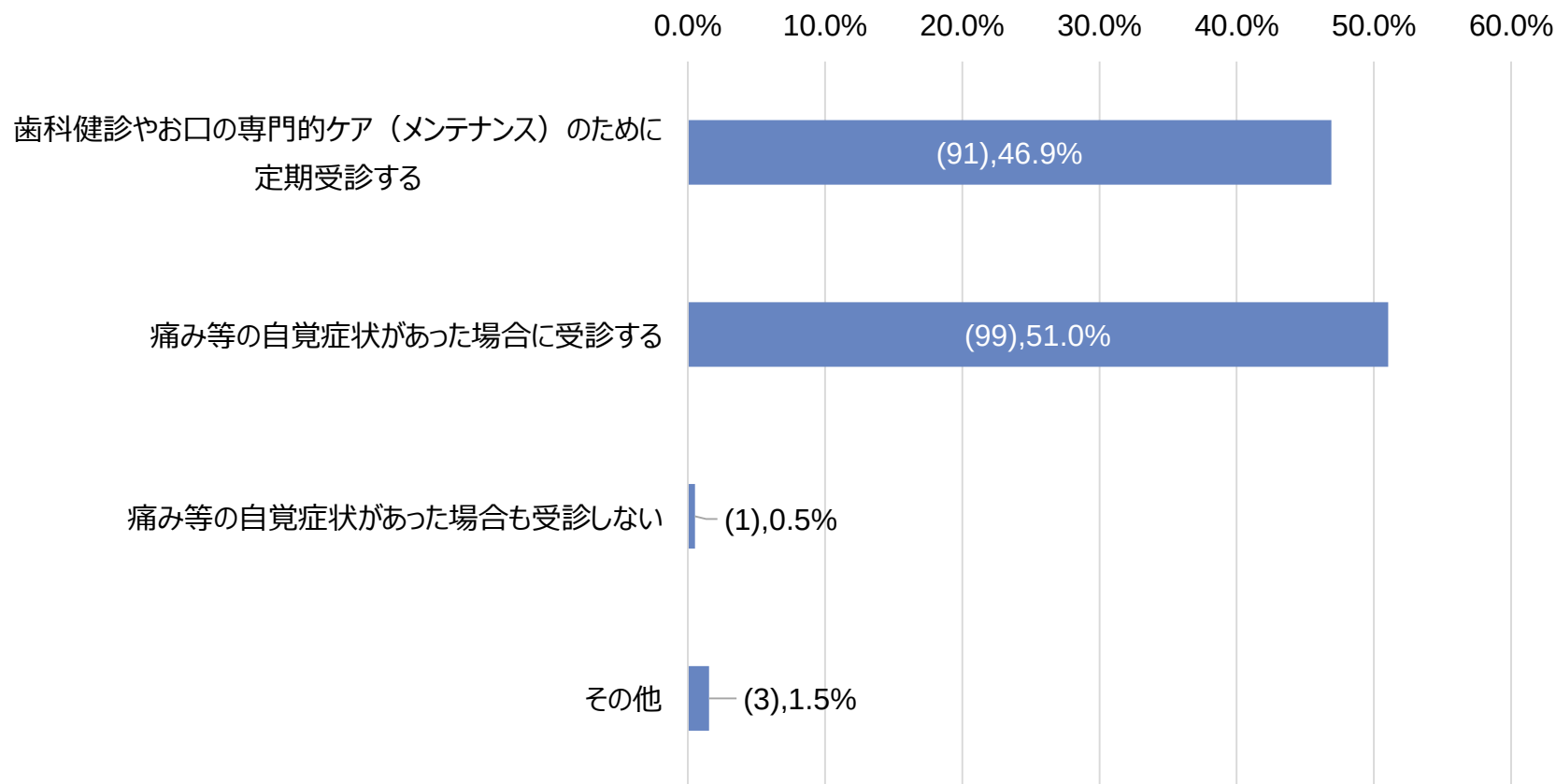
歯科健診の結果別歯科受診状況



歯科健診実施後の参加者の歯科受診状況

- 歯科検査実施後に歯科医院はどのような場合に受診をするかを尋ねた際の回答として、定期受診すると回答した者は46.9%であり、参加者のうち半数弱がセルフケア行動として定期的な歯科受診をする必要性を理解している。

歯科健診実施後の
歯科受診目的 n=194

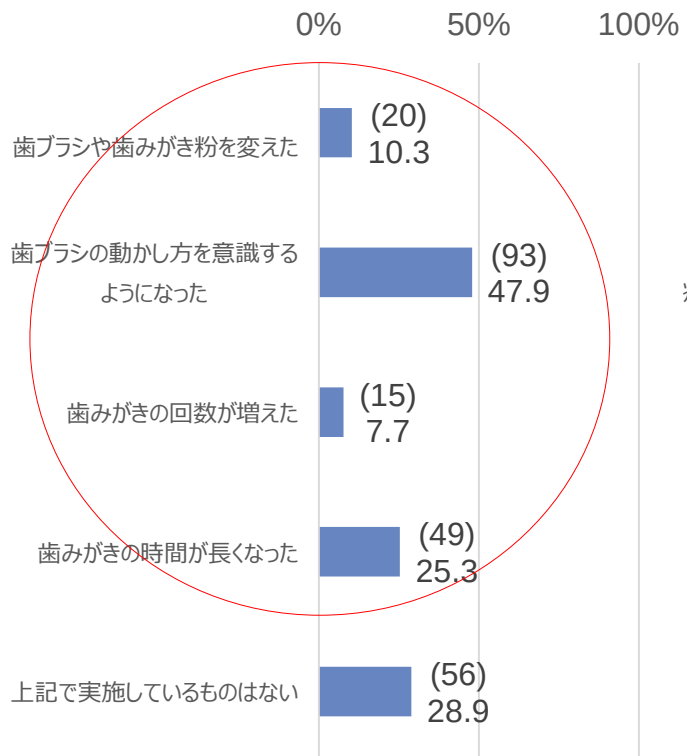


歯科健診・歯科保健指導実施後の参加者のセルフケア

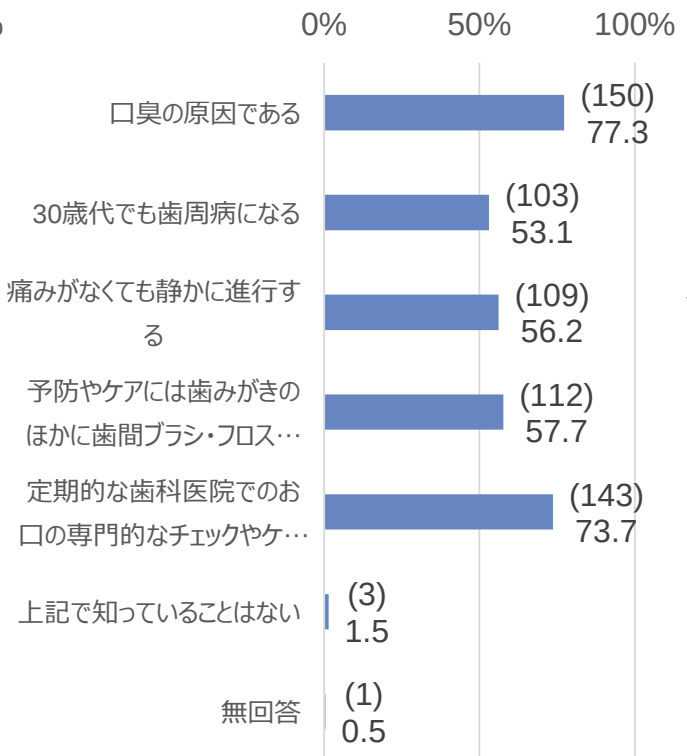
➤ 歯科健診実施後のセルフケア・意識の変化として、歯ブラシの動かし方を意識し丁寧な歯みがきを行うようになったことが伺える。また、歯周病が口臭の原因であることや定期的な歯科医院の受診が必要であることについては7割以上が歯科健診をきっかけに知ったと回答している。

セルフケア・意識・知識の変化

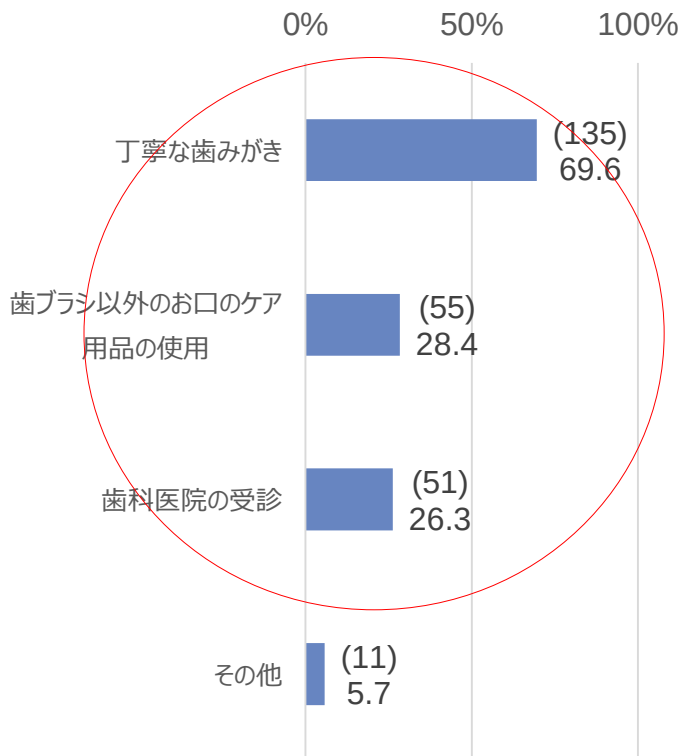
歯科健診後の
歯みがきでの心がけ n=194



歯科健診をきっかけに
知ったこと n=194



歯科健診実施後の
お口のケアに関する意識 n=194



END